第1会場　アクリエひめじ　2F　大ホール

8:30〜9:00　大会長講演

医療安全に携わるということ ― 経験、探求、そして次の世代へ ―

○水本 一弘
滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科／和歌山県立医科大学医学医療教育学講座

9:10〜10:10　特別講演 1

座長：水本 一弘（滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科／和歌山県立医科大学医学医療教育学講座）

臨床現場の困難に対するスピリチュアルケアの視点

○森崎 雅好
高野山大学 文学部

10:40〜12:10　学会連携企画パネルディスカッション 1

座長：滝沢 牧子（千葉大学医学部附属病院 医療安全管理学）
満園 裕樹（北九州市立八幡病院 診療支援部 放射線技術課）

【日本医療情報学会】
医療DXでどうなる？どうする？造影剤アレルギー情報

1　医療安全と質向上に資する電子カルテ情報共有サービス

○長嶺 由衣子
厚生労働省政策統括官付参事官（医療情報連携担当）付医療情報室

2　造影剤アレルギー情報は本当に共有できるのか
― 電子カルテシステムと放射線部門システムのギャップがもたらす医療安全上の課題 ―

○武田 理宏
大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学

3　造影剤による即時型・非即時型過敏反応：どのような情報が必要なのか

○対馬 義人
群馬大学大学院医学系研究科放射線診断核医学

4　放射線診療現場における造影剤アレルギー情報の取り扱いの現状と課題

○小泉 幸司
京都大学医学部附属病院放射線部

13:35〜14:35　特別講演 2　座長：中島 和江（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部）

被災地から学ぶ医療安全のあり方

○清元 秀泰
姫路市 市長

14:50〜16:20　**緊急企画シンポジウム**　座長：矢野 真（日本赤十字社総合福祉センター）
渡邉 幸子（医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院 医療安全管理課）

想定外への備え―令和8年熊本地震・千葉豪雨の経験を踏まえて―

1　**想定外への備え：事業継続マネジメント：BCMの現在地**
―インパクトに基づいた医療サージ対策とCapability(質的対応能力)の強化―
○川瀬 鉄典、石原 諭
兵庫県災害医療センター 兵庫県災害救急医療情報指令センター

2　**医療安全の観点からみた災害時受援体制の課題と改善方策**
～令和8年熊本地震における看護協会の意思決定と看護管理者語りの会からの検討～
○宮下 恵里
公益社団法人 熊本県看護協会

3　**千葉豪雨による洗浄・滅菌機能停止への対応と教訓―BCPの盲点と病院間連携―**
○穂積 崇史[1,2]、落合 信靖[1,2]、塚原 宣子[1]、久保田 英雄[3]、大鳥 精司[2]
[1]千葉大学医学部附属病院材料部、[2]千葉大学大学院医学研究院整形外科学、[3]東京科学大学病院材料部

16:30〜18:00　**パネルディスカッション1**　座長：加藤 果林（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）

シングルかダブルか？：投薬エラーを防ぐ実効的な確認体制を再考する

1　**認知的リソースの最適配置：京大病院が挑んだ「戦略的絞り込み」**
○加藤 果林
京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

2　**看護師が行う注射薬調製時のチェック方法を再考する**
―チェック方法と効果的なチェック行動を阻害する特性に関する全国調査から―
○飯田 恵
京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

3　**1人連続型への体制変更と5年間の運用評価 ～新たな確認作業の構築に向けて～**
○松野 江梨子
長崎県壱岐病院

4　**ダブルチェックのすり抜けは“社会的手抜き”では説明できない**
○岡 耕平
滋慶医療科学大学大学院

第2会場　アクリエひめじ　2F　中ホール

9:00〜10:30　パネルディスカッション 2　座長：嶋森 好子（日本臨床看護マネジメント学会・岩手医科大学）
荒井 有美（北里大学病院 医療安全推進室）

医療安全を支える専門職の持続可能性を問い直す ―変化する現場とキャリアの再設計―

1　医療安全管理者の専門性は、どのように育ち、続いていくのか
―経験の蓄積を、専門職としてのキャリアへ―
○荒井 有美
北里大学病院 医療安全推進室

2　Patient Safety Officers（医療安全管理者）に求められる職務態度
―スペシャリストとして必要な日々の積み重ねと職務継続の重要性―
○甲斐 由紀子
（元）宮崎大学医学部附属病院

3　「現場」と「組織」の間 (あわい) ― 現場力と俯瞰力の両立を目指して ―
○辰巳 陽一[1,2,3]
[1]徳洲会グループ医療安全管理部会、[2]近畿大学医学部・近畿大学病院、[3]八尾徳洲会総合病院

4　多職種で織りなす患者安全 ～患者安全チームに求められる高度で多角的な視点～
○長尾 能雅
名古屋大学病院患者安全推進部

10:40〜12:10　大会企画パネルディスカッション 1
座長：水本 一弘（滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科／和歌山県立医科大学医学医療教育学講座）

多職種による医療安全教育の実践と共育への展開

1　患者安全共育から病院を変える　～なぜ「教育」じゃなくて「共育」なのか？～
○新田 雅彦[1]、吉田 愛[1]、倉地 果純[1,2]、菊田 裕規[1,2]、宮村 昌利[1]、濱元 宏喜[1]、宮崎 俊和[1]、西原 雅美[1,2]、鰐渕 昌彦[1]、勝間田 敬弘[1]
[1]大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部 医療安全推進室、[2]大阪医科薬科大学病院 薬剤部

2　深まるヘルスケアの中での共同と共育
○藤井 千枝子
慶應義塾大学看護医療学部

3　医療機器の安全教育を「教える」から「共に育む」へ
○本田 靖雅
社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院 臨床工学室

4　多職種による医療安全教育から共育へ：安全をともに創る学びの展開
○石松 一真
滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科

12:30〜13:20　**教育セミナー1**　　司会：米澤 亮（富士フイルムメディカル株式会社）

画像診断レポートの見落としゼロを目指して
ー AI支援による重要所見に対する患者対応監査ー

CITA レポート既読後患者対応監査支援 AI 機能を活用した医療安全と医療の質の向上

○武田 理宏
大阪大学大学院医学系研究科・医学部 医療情報学

共催：富士フイルムメディカル株式会社

14:50〜16:20　**パネルディスカッション 3**

座長：鳥羽 三佳代（東京科学大学 医療本部 クオリティ・マネジメント・センター）
狩川 大輔（東北大学大学院工学研究科 技術社会システム専攻）

【将来構想検討委員会企画】
変化する医療環境と安全 ― 人間工学をもっと、知ろう。

1　**人間工学ってどんな学問？―複雑適応系における事象分析の視点―**
○狩川 大輔
東北大学大学院工学研究科

2　**安全性と生産性は両立する：imSHEL モデルに基づく発見メモによる情報流通と組織学習**
○山口 俊憲
山形県立産業技術短期大学校

3　**RCA 分析における人間工学的視点 ―個人からシステムへ視野を広げるために―**
○塩津 昭子
倉敷中央病院 患者安全推進室

4　**インシデント分析における「揺らぎ」をとらえる ―想定と実際になされた仕事の乖離と局所的合理性とは―**
○渡谷 祐介
山口大学医学部附属病院医療の質・安全管理部

16:30〜18:00　**パネルディスカッション 4**

座長：渡邉 幸子（医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院 医療安全管理課）
武藤 浩司（新潟市民病院）

ポリファーマシー対策が導く医療の質・安全向上
―経験の継承から地域へつなぐ多職種協働モデル―

1　**ポリファーマシー対応に必要な多職種協働のための相互理解**
○平井 みどり
神戸大学

2　**転倒転落が及ぼす病院経営への影響について ～コスト・在院日数から考える転倒・転落対策の価値～**
○渡部 学
新潟南病院事務局

3　**向精神薬のポリファーマシーへの対応を再考する ～持参薬確認から始まるリスク評価と最適化への第一歩～**
○別所 千枝
JA広島厚生連尾道総合病院 薬剤科

4　**「先祖返り」を防ぐ薬剤性嚥下障害への介入と地域連携モデル**
－STサマリーと薬剤管理の連動を目指して－

○山本 美和
旭ろうさい病院

5　**ポリファーマシー対策と薬薬連携の実践**
―多職種協働により質・安全を支える地域モデル―

○篠永 浩
三豊総合病院薬剤部

第3会場　アクリエひめじ　2F　小ホール

9:00〜10:30　海外招請セッション 1

座長：小松 康宏（東京女子医科大学 医療安全学講座）
栗原 健（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部）

Incorporating patient centered Shared Decision Making：
患者中心の意思決定を実装するために

1　**Beyond the Checklist: Making Shared Decision Making Meaningful in Japan**
○Daniel D. Matlock
Department of Medicine, Division of Geriatrics, University of Colorado, USA

2　**日本の腎代替療法における Shared Decision-Making の実践と課題**
○小松 康宏
東京女子医科大学 医療安全学講座

3　**「人様にご迷惑をかけたくない」を超えて：**
家族中心意思決定から患者中心SDMへ
○後藤 友子
医療法人社団悠翔会 臨床研究センター／情報と選択と決定の研究所／藤田医科大学 医学部／
国立長寿医療センター 在宅医療・地域医療連携推進部

共催：地方独立行政法人　東京都立病院機構

10:40〜12:10　海外招請セッション 2

座長：岡田 浩（京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野）
安部 猛（福島県立医科大学総合科学教育研究センター 医療統計学分野）

【国際委員会企画】
高齢者における医薬品の安全管理：オーストラリアとわが国の実践例紹介

1　**Medication Management in Older Adults: New Directions in Australia**
○Simon Bell
Centre for Medicine Use and Safety, Monash University

2　**高齢者の安全な薬物療法を地域で支える**
―地域薬局薬剤師による健康とウェルビーイング支援の可能性―
○岡田 浩
京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野

3　**高齢者のポリファーマシー対策と医療安全―病院から地域へ**
○竹屋 泰
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

14:50〜15:40　一般演題（口演）1　研究発表

座長：武田 理宏（大阪大学大学院医学系研究科 医療情報学）
鈴木 明（浜松医療センター 麻酔科）

生成AI・データ活用による医療安全DX

O-1-1　**大規模インシデントレポートに対するAI解析を用いた医療安全インテリジェンスの構築**
○齊藤 正昭、山岸 八重乃、大庭 明子、亀森 康子、坂本 志麻
自治医科大学附属さいたま医療センター医療安全・渉外対策部

O-1-2　**安全管理業務における生成AI支援Excelマクロ VBAの活用**
○小出 昌秋、浜野 孝、山本 将太、森 恵理、大木島 尚弘、秋田 武宏
聖隷浜松病院 安全管理室

O-1-3　生成AIを活用した「医療事故の再発防止に向けた提言」の音声付き動画化による職員安全教育の試み

○小出 昌秋、浜野 孝、山本 将太、森 恵理、大木島 尚弘、秋田 武宏
聖隷浜松病院 安全管理室

O-1-4　識別特化型AIによるインシデントレポートの過失判定、患者誤認の判定

○植村 政和[1]、上松 東宏[2]、樋口 雅也[3,4,5]、田畑 雅央[6]
[1]名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部、[2]愛知医科大学 総合診療医学講座、[3]ハーバード大学医学部、[4]マサチューセッツ総合病院 緩和老年科、[5]東北大学大学院医学系研究科、[6]東北大学病院 医療安全推進室

O-1-5　臨床スタッフからみたDoctor of Nursing Practice修了生の臨床現場における質改善活動への影響

○奥山 絢子[1]、榎戸 文子[2,3]、馬屋原 真佐子[4]、林 直子[5]
[1]聖路加国際大学大学院看護学研究科・公衆衛生大学院、[2]国際医療福祉大学小田原保健医療学部、[3]国立成育医療研究センター政策科学研究部、[4]ワシントン大学セントルイス校医学部緩和医療学科、[5]聖路加国際大学大学院看護学研究科

16:30〜18:00　海外招請セッション 3

座長：中村 京太（横浜市立大学附属市民総合医療センター医療の質・安全管理部）
滝沢 牧子（千葉大学医学部附属病院／千葉大学大学院医学研究院）

オランダにおけるSafety-II への政策転換の経験から―日本が学ぶこと―

Keynote　Embedding Safety Science in governmental oversight of healthcare quality; Dutch developments

○Ian Leistikow
Erasmus University Rotterdam; Dutch Health & Youth Care Inspectorate, Ministry of Health, the Netherlands

1　日本におけるレジリエント・ヘルスケアの取り組み

○中島 和江
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

2　日本医療機能評価機構が行う医療安全活動

○長谷川 友紀
東邦大学医学部社会医学講座

第4会場　アクリエひめじ　1F　展示場C

9:00〜10:30　学会連携企画パネルディスカッション 2

座長：徳山 薫（日本手術看護学会 医療政策検討委員会／東京大学病院 看護部）
原 健太朗（日本手術看護学会 医療政策検討委員会／熊本大学大学院生命科学研究部 基盤看護学）

【日本手術看護学会】
周術期におけるチーム医療のあり方ー限られた人材で手術医療の質と安全を担保するにはー

1　周術期における看護師の特定行為とタスク・シフト/シェアについて
○初村 恵
厚生労働省医政局医療経営改革課看護サービス推進室

2　周術期におけるチーム医療のあり方
―限られた人材で手術医療の質と安全を担保するには　外保連の立場から―
○瀬戸 泰之
国立がん研究センター中央病院

3　「安全な周術期医療」を提供するためのタスクシフト・シェア
麻酔科学会の取り組み
○山田 高成
慶應義塾大学医学部麻酔学教室

4　外科医と病院長、限られた人材での手術医療の質・安全担保 －二重の視点から－
○宮入 剛
JR東京総合病院心臓血管外科

5　周術期におけるチーム医療のあり方
―安全な手術医療の質と手術室看護師の役割と課題―
○ミルズ しげ子
日本手術看護学会（長野保健医療大学）

10:40〜12:10　学会連携企画パネルディスカッション 3

座長：奥山 絢子（聖路加国際大学大学院看護学研究科）
清水 史恵（滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科）

【日本看護管理学会】
エビデンスで現場を変える

1　現場の「気づき」を数値に変える：データで導く医療安全の可視化と改善アプローチ
○森脇 睦子
東京科学大学 医療本部 クオリティ・マネジメント・センター

2　医療の質評価とその実践
○水野 篤
聖路加国際病院 医療の質管理室

3　EBPを実践につなぐ質改善活動の実際
○浅田 美和
聖路加国際病院 看護部／QIセンター医療の質管理室

4　エビデンスを実践につなぐ―がん患者への移行期ケアプログラムの実装
○坂下 智珠子
北里大学病院 看護部

12:30〜13:20　**教育セミナー2**

座長：新田 雅彦（大阪医科薬科大学 医療安全推進室／小児科学教室／救急医学教室）

CCOTから見たモニタアラームの役割-何を監視し、何に気づき、何を守るのか-

○野口 綾子
東京科学大学 集中治療部

共催：日本光電工業株式会社

14:50〜16:20　**パネルディスカッション5**

座長：田中 和美（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学分野）
大西 真弘（群馬大学医学部附属病院 システム統合センター）

患者参加型医療実現のための患者とのカルテ共有：
リアルタイム共有によって何が起こったか

1　**患者参加型医療とカルテ共有：世界の実情**
○小松 康宏
東京女子医科大学 医療安全学講座

2　**カルテ共有によって何が起こったか―亀田総合病院における20年の軌跡―**
○小川 理[1]、西川 理恵[2]、小倉 彬生[3]
[1]医療法人鉄蕉会情報管理本部、[2]医療法人鉄蕉会情報戦略室、[3]医療法人鉄蕉会情報システム部

3　**カルテ共有によって何がおこったか：6年間の経験**
○対馬 義人
群馬大学大学院医学系研究科放射線診断核医学

16:30〜18:00　**学会連携企画パネルディスカッション4**

座長：青木 拓也（東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床疫学研究部）
荒神 裕之（山梨大学大学院総合研究部医学域 医療安全学講座）

【日本プライマリ・ケア連合学会】
診療所・中小医療機関から学ぶ質向上と安全の取り組み
―リバース・イノベーションとしてのプライマリ・ケア領域の実践知―

1　**診療所ネットワークにおけるクリニカルオーディットとインシデントレポートシステムの取り組み**
○西村 正大
地域医療振興協会 奈良市立都祁診療所

2　**診療所と地域包括ケア病棟をつなぐAI活用**
――ナラティブ共有による患者協働の実践
○平尾 由美[1]、松下 明[2]
[1]社会医療法人清風會日本原病院、[2]社会医療法人清風會岡山家庭医療センター

3　**小児等在宅医療／医療的ケア児等支援における医療の質・安全推進の挑戦**
○土畠 智幸
医療法人稲生会 生涯医療クリニックさっぽろ

4　**クリニックの医療の質・安全の取り組みと展望**
～特定機能病院の安全管理者経験から～
○西平 淳子
登川脳神経内科クリニック

第5会場　アクリエひめじ　1F　展示場B

9:20〜10:20　特別講演 3　司会：荒神 裕之（山梨大学大学院総合研究部医学域 医療安全学講座）

黒田官兵衛の姫路築城の知恵と姫路城を将来に残すための知恵

○芳賀 一也

10:40〜12:10　パネルディスカッション 6

座長：田畑 雅央（東北大学病院 医療安全推進室）
亀森 康子（自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部）

【医療事故調査等関連委員会企画】
医療機関における有害事象の把握と対応の判断：施設規模の違いを踏まえた検討

1　行政の立場から〜医療安全施策の動向〜
○門野 泉
厚生労働省医政局医療経営改革課医療安全推進・医務指導室

2　重大事象類型化への対応と課題―特定機能病院における初期運用―
○谷口 雄司
鳥取大学医学部附属病院 医療安全管理部

3　一般病院（340床）の立場から
○渡邉 善正[1]、古沢 由果[1]、三浦 美智枝[1]、飯島 義孝[1]、塩谷 猛[2]
[1]さいたま市民医療センター医療安全・渉外対策部、[2]さいたま市民医療センター

4　一般病院（606床）の立場から　―当院の現状について―
○落合 秀人
浜松医療センター 医療安全管理部

12:30〜13:20　教育セミナー3　座長：原田 賢治（東京農工大学 保健管理センター）

組織全体で取り組む Patient Safety 実現に向けて

1　患者が安心して医療を受けられる環境づくりのために
〜医療安全管理部門等が把握すべき重大事象の類型、
JPSGs（Japan Patient Safety Goals）について〜
○長尾 能雅
名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部

2　栄養目的に留置するチューブ挿入を安全に行うために
○近本 亮
熊本大学病院 医療の質・安全管理部

共催：株式会社大塚製薬工場

14:50〜16:10　パネルディスカッション 7　　座長：荒井 有美（北里大学病院 医療安全推進室）
綾部 貴典（宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部）

【広報委員会企画】
「経験の継承と科学的探求　〜さらなる高みをめざして〜」の広報を考えていこう

1　医療現場の経験知を未来へつなぐ：安全文化を支える実践と課題
○辰巳 陽一[1,2,3]
[1]徳洲会グループ医療安全管理部会、[2]近畿大学医学部・近畿大学病院、[3]八尾徳洲会総合病院

2　科学的探求が拓く医療安全：データ分析とエビデンスに基づく改善戦略
○浦松 雅史
東京医科大学 医療の質・安全管理学分野

3　患者とともに築くコンテキスト医療安全
○奥村 将年
藤田医科大学病院，医療の質・安全対策部

4　医療安全を守るのは医療者だけではない
―患者になったからこそ感じる市民啓発の重要性―
○轟 浩美
一般社団法人igannet

16:30〜18:00　シンポジウム 1　　座長：松村 泰志（国立病院機構 大阪医療センター）
新開 裕幸（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部）

【医療安全ネットワーク委員会企画】
第2回 医療安全Co-Labミーティング ― 境界を越え、実践を編み直す ―

1　第1回 Co-Labミーティングを終えて
〜ネットワーク委員会が果たす役割と今後の展望〜
○楫野 良知[1,2]、荒井 有美[1,3]、遠田 光子[1,4]、勝亦 秀樹[1,5]、新開 裕幸[1,6]、箱田 美知恵[1,7]、本田 靖雅[1,8]、松村 泰志[1,9]
[1]医療の質・安全学会 医療安全ネットワーク委員会、[2]医療法人社団博友会 金沢西病院整形外科、[3]北里大学病院 医療安全推進室、[4]日本医療機能評価機構 教育研修事業部、[5]横浜市立大学附属市民総合医療センター 薬剤部、[6]大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部、[7]北里大学病院 看護部、[8]聖マリア病院 臨床工学室、[9]国立病院機構大阪医療センター

2　実践を編み直す対話 ― 暗黙知を実践知へつなぐ概念化のプロセス ―
○白砂 麻里
医療法人徳洲会 白根徳洲会病院 医療安全管理室

3　日本医療機能評価機構としてのこれまでの取り組みと参加者の声“おひとりさま”（ワンオペ）医療安全応援プロジェクトの紹介
○遠田 光子
日本医療機能評価機構

4　医療安全施策の動向
○門野 泉
厚生労働省医政局医療経営改革課医療安全推進・医務指導室

第6会場　アクリエひめじ　1F　メインスタジオ

9:00〜10:30　パネルディスカッション 8　座長：長谷川 友紀（(公財）日本医療機能評価機構）
横山 玲（(公財）日本医療機能評価機構 評価事業推進部）

視える化された“安全文化”をどう活かすか

医療安全文化調査活用支援プログラム　概要説明
○長谷川 友紀
（公財）日本医療機能評価機構

1　多職種巻き込み型アプローチと医療安全文化調査を活用した安全文化醸成への取り組み
○田中 聖子、尾川 ひろえ
国保水俣市立総合医療センター

2　医療安全文化調査と病院機能評価結果の活用方法
○大澤 晋、在本 ゆかり、田村 利枝、小沼 利光、渡辺 晴樹、安藤 瑞生、白井 肇、高木 由佳、内田 佐知子
岡山大学病院 医療安全管理部

10:40〜12:10　パネルディスカッション 9
座長：奥村 将年（藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部）
辰巳 陽一（徳洲会グループ本部 医療安全管理部門／近畿大学医学部・近畿大学病院）

医療安全もチームの一員！
「救急集中治療における生命維持治療の終了・差し控えに関する４学会合同ガイドライン」

1　「救急・集中治療における生命維持治療の終了／差し控えに関する4学会合同ガイドライン」の概要
○渥美 生弘
浜松医科大学 救急災害医学講座

2　生命維持治療の終了における「安全」の再定義：患者にとっての最善を目指して
○則末 泰博
東京ベイ・浦安市川医療センター 呼吸器内科 救急・集中治療科

3　医療安全が伴走する生命維持治療終了と差し控え
○奥村 将年
藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部

12:30〜13:20　教育セミナー4　座長：髙橋 仁美（兵庫医科大学病院 看護部）

デジタル技術で実現する医療の質と安全
―Super Smart Hospital構想とRFID活用の実践―

○井口 健
大阪医科薬科大学 情報企画管理部

共催：株式会社テクノメディカ

14:50〜16:20　**パネルディスカッション 10**

座長：本田 靖雅（聖マリア病院 臨床工学室）
松田 晋也（東京都済生会向島病院）
ファシリテーター：松井 豊（独立行政法人 医薬品医療機器総合機構 医療機器安全対策・基準部 医療安全情報管理課）
近本 亮（熊本大学病院）

【医薬品・医療機器・放射線安全委員会　医療機器部会企画】
経験から学ぶ中小規模施設の医療機器管理

1　期待と現実のギャップ ～ CEと看護師、それぞれの事情と歩み寄り～
○石丸 由香子
医療法人財団樹徳会 上ヶ原病院

2　地域中核病院が果たすべき医療機器安全管理の役割
○北村 孝一
大阪公立大学医学部附属病院 医療機器部

3　限られたリソースで挑む医療機器管理の理想と現実
～医療安全管理者の視点からみた完璧な管理と 柔軟な管理～
○田村 尚三
赤穂中央病院

16:30〜18:00　**パネルディスカッション 11**

座長：小松 康宏（東京女子医科大学 医療安全学講座）
飛田 伊都子（大阪医科薬科大学 看護学部）

【学会誌編集委員会、学術委員会、安全調査研究倫理審査委員会 合同企画】
論文作成・投稿を実現するために必要なこと

1　臨床業務の成果を論文作成につなげる際に必要なこと
○山口（中上）悦子
国際医療福祉大学 大学院／医学部（医療の質・安全学）

2　医療の質・安全研究に必要な倫理的配慮
○石松 一真
滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科

3　論文投稿に際して注意すべき点―査読者の立場から―
○和佐 勝史
滋慶医療科学大学大学院

4　論文作成・投稿を実現するための出版倫理
――研究成果を信頼される形で公表するために
○小松 康宏[1,2]
[1]東京女子医科大学 医療安全学講座、[2]群馬大学多職種人材育成のための医療安全教育センター

第7会場　アクリエひめじ　4F　401＋402＋403

9:00〜10:30　パネルディスカッション 12

座長：加納 隆（滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻）

医療事故対策として必要な医用テレメータ電波管理の徹底

1　医療機関における安心・安全な電波利用推進に関する総務省の取り組み

○松月 正樹

総務省 総合通信基盤局 電波部 電波環境課

2　医用テレメータの電波不感エリア調査とその対策

○新 秀直

東京大学病院 企画情報運営部／企画経営部／パブリック・リレーションセンター

3　医用テレメータの電波管理実践ガイドについて

○加納 隆

滋慶医療科学大学大学院 医療管理学研究科 医療安全管理学専攻

4　臨床工学技士による電波管理の実際と課題について

○夛田 和弘

君津中央病院 臨床工学科

5　看護師の立場から安全な運用を考える

○大原 志歩

社会福祉法人恩賜財団済生会支部神奈川県済生会横浜市東部病院

10:40〜12:10　シンポジウム 2

座長：荒神 裕之（山梨大学大学院総合研究部 医学域 医療安全学講座）
依田 明久（石巻赤十字病院 医療安全推進課・医療対話推進課）

対応記録はどこまで共有すべきか ー医療安全と法の観点から考える情報管理の実際ー

1　医療機関の実践①「カルテ記載なし／システム機能による院内共有」

○田中 雅樹、芝野 靖司

泉大津急性期メディカルセンター クオリティー管理センター 患者支援室

2　医療機関の実践②「事案・状況に応じたカルテ記載／詳細は関係部署内で共有」

○平井 理心[1,2]、佐藤 真子[3]、島田 貴之[2]、讃岐 勝[3]、根本 清貴[4]、和田 哲郎[1]

[1]筑波大学附属病院 医療安全管理部、[2]筑波大学附属病院 医療支援課、[3]筑波大学附属病院 医療情報部、[4]筑波大学附属病院 精神神経科

3　医療機関の実践③「対応経過の要旨をカルテに記載／詳細は関係部署内で共有」

○野崎 秀介[1,2]、中西 正芳[2]、高取 良太[1]、小林 香保里[1]

[1]パナソニック健康保険組合 松下記念病院 医療安全管理室、
[2]パナソニック健康保険組合 松下記念病院 TQMセンター

4　④法律家の立場からの意見

○山崎 祥光

弁護士法人御堂筋法律事務所

12:30〜13:20　教育セミナー5

座長：笠原 聡子（滋賀医科大学 医学部 看護学科）

転倒による大腿骨頸部骨折の発生抑制に関する研究および実証結果

1　転倒骨折リスク低減床材の性能評価理論と標準化

○伊藤 安海

山梨大学大学院総合研究部 工学域 機械工学系（機械工学）

2　介護・リハビリ施設における転倒事故と安全床の有用性
○来栖 宏二
アゼリーグループ

共催：TOPPAN株式会社

14:50〜16:20　パネルディスカッション 13　座長：鈴木 康子（一般社団法人 慈山会医学研究所付属 坪井病院）
土谷 周平（東京医科大学茨城医療センター 臨床工学部）

Speak upを再考する -人の行動特性を踏まえた多職種によるチーム医療-

1　勇気に依存するSpeak upを越えて ―多職種で考えるチーム設計への導入―
○土谷 周平
東京医科大学茨城医療センター臨床工学部

2　声をあげやすい医療体制の整備にBehavior Change Wheelは応用可能か？
○清水 夏生
埼玉医科大学 保健医療学部 理学療法学科

3　診療放射線技師のSpeak upを促すSTAT画像報告体制の構築
―CT室における多職種連携と取り組み―
○鈴木 渉平、山口 聖、長谷川 伸明、眞野 陽貴、安藤 聡志、中村 康彦
横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部

4　Speak upを個人の勇気に委ねないチームづくり
―TeamSTEPPSと心理的安全性、多職種理解の実践から―
○島田 尚哉
東神戸病院

5　自らの挨拶の徹底こそ、コミュニケーションのスタートである
○柳田 国夫
東京医科大学茨城医療センター

16:30〜18:00　パネルディスカッション 14
座長：平松 真理子（慶應義塾大学病院 医療安全管理部／名古屋大学医学部附属病院 QSOプロジェクト）
小池 大助（名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部／名古屋大学医学部附属病院 QSOプロジェクト）

医療現場における問題解決手法
～改善実践と人材育成から学ぶ成功のコツとピットフォール～

1　8ステップ型問題解決手法の概要と医療への応用
○小池 大助[1,2]、栗原 健[1,2]、梅村 朋[1,2]、長尾 能雅[1,2]
[1]名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部、[2]名古屋大学医学部附属病院 QSOプロジェクト

2　医師が予期した手術合併症の看過をなくす
○植田 瑛子[1,2]、佐々木 琢也[1]、秋元 若菜[1]、川邉 桂[1]、望月 秀一[1]、長嶺 希[1]、高瀬 真太郎[1]、菊地 龍明[1]
[1]横浜市立大学附属病院医療安全管理部、[2]名古屋大学医学部附属病院QSOプロジェクト

3　品質管理手法を用いた内服無投薬事例撲滅への取り組み
○別所 文彦[1,2]、平松 真理子[2]、平井 昂宏[2]、長尾 能雅[2]
[1]新行橋病院 医療安全管理部、[2]名古屋大学医学部附属病院QSOプロジェクト

4　品質管理手法を用いた転倒転落防止対策の取り組み
～問題解決手法の実践から得たピットフォールと成功のコツ～
○中西 敏博[1,2]、石木 良治[1,2]、小鹿 由紀子[1]、今井 正樹[1]、久田 達也[1]、油井 直樹[1]、栗原 健[2]、平井 昂宏[2]、長尾 能雅[2]
[1]トヨタ自動車株式会社 トヨタ記念病院 医療安全管理グループ、
[2]名古屋大学医学部附属病院 QSO プロジェクト

5　問題解決手法の教育効果

○平松 真理子[1]、梅村 朋[2]、植村 政和[2]、長尾 能雅[2]
[1]慶應義塾大学病院 医療安全管理部、[2]名古屋大学医学部附属病院 QSO プロジェクト

第8会場　アクリエひめじ　4F　407

9:00〜10:30　パネルディスカッション 15

座長：落合 慈之（東京医療保健大学）
美代 賢吾（東京大学大学院 医学系研究科）

医療安全の向上と効率化は両立するか -医療DXを加速させるGS1活用とその期待-

1　トレーサビリティと医薬品・医療機器等製品データベース
○安川 孝志
厚生労働省

2　患者安全と医療用医薬品のトレーサビリティ
○舟越 亮寛[1]、池田 和之[2]
[1]医療法人鉄蕉会亀田総合病院、[2]奈良県立医科大学 附属病院

3　医療材料トレーサビリティの実装 —SIP第3期の取り組みから見えてきたもの—
○西 亮太
国立健康危機管理研究機構 システム基盤整備局

4　医療安全を支える医療施設ユースケースの共創に向けて
○新井 洋司
医療トレーサビリティ推進協議会

10:40〜12:10　パネルディスカッション 16

座長：山本 龍太朗（弁護士法人大江橋法律事務所）
中村 信太朗（弁護士法人大江橋法律事務所）

共同親権導入後の医療同意 — 医療現場で整理すべき主要課題

1　未成年者の医療同意と共同親権：国際的潮流を踏まえた実務再考
○松村 由美
京都大学医学部附属病院 医療安全管理部

2　改正家族法が小児医療の現場に与える影響
○中村 信太朗
弁護士法人大江橋法律事務所

3　共同親権導入後に想定される実務上の課題
○山本 龍太朗
弁護士法人大江橋法律事務所

4　こどもの最善利益の観点から
○横井 暁子
兵庫県立こども病院小児外科

12:30〜13:20　教育セミナー6

座長：劉 利子（医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院 医療安全管理室）

療養観察モニターの予防的活用を目指した設置・設定基準の構築

1　機器を活かす運用の標準化への取り組み
○藤木 沙綾
医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院 看護部

2　療養観察モニター活用におけるSEの役割
○塚本 庸明
医療法人徳洲会名古屋徳洲会総合病院 情報システム管理室

共催：アイホン株式会社

14:45〜15:45　一般演題（口演）2　活動報告

座長：榎本 武治（聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室）
亀森 康子（自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部）

研修医教育・報告文化醸成の取り組み

O-2-1　臨床研修医が“報告する文化”を身につける取り組み

○内藤 光三[1]、武田 雄二[1]、福井 直子[1]、佐藤 裕美[1]、大坪 千夏[1]、菊池 智美[1]、甘利 香織[2]
[1]地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館 医療安全管理部、[2]総合教育研修センター

O-2-2　年10件の「義務」を「学び」に変える：研修医インシデントレポート提出促進の仕組み化と教育・組織改善への還元

○大瀬 貴元
JCHO東京新宿メディカルセンター腎臓内科

O-2-3　手術室における安全教育の横展開がインシデント報告行動に与えた影響と課題

○田島 瑞己[1,2]、前川 明日香[2]
[1]社会医療法人社団慶友会 慶友整形外科病院 看護部手術室、[2]同 医療安全推進室

O-2-4　教育資料とインシデント・アクシデント報告を連動させた再発防止への取り組み

○富永 滋比古[1]、増井 浩史[1]、渡口 紗季[1]、鈴木 らら[1]、山本 将太[2]、大木島 尚弘[2]、浜野 孝[2]、小出 昌秋[2]
[1]聖隷浜松病院 臨床工学室、[2]安全管理室

O-2-5　重症化局面で顕在化する要因の構造 - SHAPによる寄与分析と介入優先度 -

○松村 剛毅[1,2]、世川 修[2]、清水 優子[1,2]、花房 規男[3]、中島 範宏[2,4]、越後 かなめ[2]、山崎 かおり[2]、小松 康宏[1,2]
[1]東京女子医科大学医学部医療安全学講座、[2]東京女子医科大学病院医療安全推進部、
[3]東京女子医科大学血液浄化療法科、[4]東京女子医科大学医学部衛生学公衆衛生学講座

O-2-6　TQM推進室における人材育成体系の構造化と質管理活動との統合的運用

○菊地 正、手島 伸、馬場 由美、新倉 仁、鎌田 俊亮、畠山 伸、犬上 直美、佐久間 篤、西城 信、小関 綾子
独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター TQM推進室

15:55〜16:55　一般演題（口演）3　活動報告

座長：安宅 一晃（奈良県総合医療センター 救急・集中治療センター）
佐藤 暢夫（東京女子医科大学 集中治療科）

RRS運用と生成AI・データ活用の実践

O-3-1　院内迅速対応システム導入1年目の現状と課題 〜要請傾向と患者状態変化の早期認識に向けた課題〜

○石本 真治[1]、吉川 圭[1]、平田 研人[2]、小川 朋子[1]
[1]公益財団法人 天理よろづ相談所病院、[2]クリケア訪問看護ステーション

O-3-2　当院のRRT活動の実態と課題 RRS導入から3年目を迎えて

○速水 浩己、岡 智、秋山 晶子、冨永 美佳子
藤沢市民病院 医療安全管理室

O-3-3　RRS運用指針に基づく体制再構築とアウトリーチ導入後の変化と課題

○木村 亜未、遠藤 弘子
大阪公立大学医学部附属病院

O-3-4　電子カルテ搭載型生成AIを用いた死亡事例調査支援の初期経験

○成島 光洋、亘 美穂
TMGあさか医療センター

O-3-5　AI内蔵インシデントレポートシステムによるDXの推進
～生成AIによる自動解析と精密可視化が牽引するRMパフォーマンスの最大化～
○伊藤 秀隆[1]、松尾 有記[2]、山本 英一[2]
[1]愛媛県立中央病院 医療情報部、[2]医療安全管理部

O-3-6　AI内蔵インシデント分析システムを活用したリスクマネジメント業務の変革
― 配置1名のRMにおける業務効率化と多角的な要因分析へのアプローチ ―
○松尾 有記[1]、伊藤 秀隆[2]、山本 英一[1]
[1]愛媛県立中央病院、医療安全管理部、[2]愛媛県立中央病院、医療情報部

17:05～18:05　一般演題（口演）4　研究発表　　座長：長谷川 剛（エルゼビアジャパン）
山内 桂子（東京海上日動メディカルサービス株式会社）

医療安全教育・体制整備の効果検証

O-4-1　インシデント分析へのQuickSAFER® 活用定着に向けた方策
―フォーカスグループインタビューによる検討―
○川畑 貴寛[1]、川西 美佐[1]、三輪 晃子[1]、三河内 敬子[2]、谷口 理恵[2]、寺本 辰美[2]、荒木 美香[2]
[1]日本赤十字広島看護大学、[2]庄原赤十字病院

O-4-2　保険薬局における患者安全文化を醸成するための教育プログラムの開発とその効果検証
○岡田 正人[1,2]、伊藤 達也[3]、岡田 浩[4]
[1]和歌山県立医科大学薬学部社会・薬局薬学研究室、[2]株式会社メディックス、
[3]和歌山県立医科大学薬学部医療情報薬学研究室、
[4]京都大学大学院医学研究科 社会健康医学系専攻予防医療学分野

O-4-3　診療所における医療安全教育の実装に向けた地域型eラーニングの有用性
―「しまねCOMMONS」の利用状況と受講促進要因の検討―
○谷口 かおり[1]、深見 達弥[2]、名越 究[3]
[1]島根大学医学部看護学科基礎看護学講座、[2]島根大学医学部附属病院医療安全管理部、
[3]島根大学医学部環境保健医学講座

O-4-4　中小規模病院における看護部長の医療安全管理体制構築のプロセス
○横山 里美
滋慶医療科学大学大学院

O-4-5　医療の質改善活動における業務効率化・コスト削減効果の影響要因に関する一考察
○江口 美奈子
NTT東日本関東病院

O-4-6　セルフスティグマの関係性要因と医療の質・安全への示唆
― 国内文献レビューによる検討 ―
○前原 宏美
鹿児島純心大学看護栄養学部看護学科

第9会場　アクリエひめじ　4F　408

9:00〜10:00　一般演題（口演）5　活動報告

座長：田中 和美（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学）
清水 郁夫（千葉大学大学院医学研究院 医学教育学）

実践的研修・シミュレーション教育の企画

O-5-1　動画視聴を取り入れた患者誤認予防研修の取り組み

○大西 麻衣[1]、愛甲 景章[1]、青嶋 保志[1]、三川 雅人[1]、友松 恵子[2]、伊東 昌広[1]
[1]藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部 安全管理室、[2]藤田医科大学病院 薬剤部

O-5-2　「百聞は一見にしかず」中央部門の見学を医療安全教育に活かす

○田口 由美子、日隈 香澄、神﨑 涼子
熊本大学病院

O-5-3　初期臨床研修医を対象とした身体的拘束ロールプレイ研修の取り組み ―多職種の関与促進に向けて―

○益子 貴史[1]、福田 周一[2]、小畑 美加子[1]、神山 淳子[1]、北畠 智富[1]、鶴見 眞理子[1]、相場 雅代[1,3]、間藤 尚子[1,4]、味村 俊樹[1]、新保 昌久[1]
[1]自治医科大学附属病院 医療の質向上・安全推進センター、[2]自治医科大学 精神医学講座、[3]自治医科大学附属病院 看護部、[4]自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

O-5-4　特定技能制度を活用した看護補助者に対する医療安全研修の取り組み

○岩田 香、阿部 葉子、三枝 典子、金井 亜紀子
前橋赤十字病院 医療安全推進室

O-5-5　小児総合病棟における急変対応能力向上に向けた活動報告 ―呼吸器シミュレーション教育を通して―

○大瀧 由理子、村田 知恵、湧嶋 仁美
鳥取大学医学部附属病院

O-5-6　医療安全管理者を支える生成AIの活用 ―効果的な教育・安全対策実装のために―

○新開 裕幸、勇 佳菜江、大石 祐子、北村 温美、中島 和江
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

10:10〜11:00　一般演題（口演）6　活動報告

座長：楫野 良知（金沢西病院整形外科）
戸田 満秋（滋慶医療科学大学 医療科学部臨床工学科／大学院医療管理学研究科）

画像診断・検査結果対応の質改善

O-6-1　画像診断レポート監査体制の構築は偶発的所見（がん）の治療につながる

○早野 聡[1]、池田 隆展[2]、三浦 由視[1,4]、山田 和沙[1,4]、宮﨑 なをみ[4]、石田 佳子[4]、鈴木 尚子[1]、小栗 徳彦[3]、浦崎 哲哉[1]、宮地 正彦[5]
[1]中東遠総合医療センター・医療安全管理室、[2]放射線診断科、[3]診療放射線室、[4]看護部、[5]企業長

O-6-2　画像診断レポートの対応問題事例対策―3年間の振り返り―

○山之口 賢、竹本 さと子、堀 郁子、中井 紘平、相良 直哉、小池 秀治、敷嶋 展彦、辻井 佳代、古田 昭寛、森 章
大阪赤十字病院 医療安全推進室

O-6-3　甲状腺細胞診後の検査結果未通達患者に対する取り組み

○北川 亘[1]、森 美早[2]、植木 輝[3]、二階堂 名奈[3]、寺澤 友基子[3]、谷口 昌生[2]、伊藤 公一[1]
[1]伊藤病院 外科、[2]伊藤病院 診療情報管理室、[3]伊藤病院 医療安全管理室

O-6-4　検体検査パニック値報告の運用改善にむけた取り組み

○宇城 研悟、小久保 登子、根来 信吾、杉山 朋弘
済生会松阪市民病院 医療安全管理室

O-6-5　多職種連携で取り組む画像検査重大所見の未対応モニタリングの実践

○花澤 豪樹、西出 康晴、堀 佳奈美、塩津 昭子、長久 吉雄、平尾 慎吾、沈 正樹、橋本 徹
大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 患者安全推進室

11:10〜12:00　一般演題（口演）7　活動報告

座長：酒井 哲也（兵庫県立はりま姫路総合医療センター）
本鍋田 由美子（聖マリアンナ医科大学病院）

検査結果確認・経口摂取に関する安全管理

O-7-1　超音波検査報告書の未確認に対する当院の取り組み

○有馬 ひとみ[1]、石倉 順子[1]、阿久沢 雄斗[1]、高山 裕也[2]、新井 智和[2]、金井 亜紀子[3]、
久保田 淳子[1]、黒沢 幸嗣[1]、井出 宗則[4]、庭前 野菊[3,5]
[1]前橋赤十字病院 臨床検査科部、[2]前橋赤十字病院 医療安全管理課、[3]前橋赤十字病院 医療安全推進室、
[4]前橋赤十字病院 病理診断科、[5]前橋赤十字病院 心臓血管内科

O-7-2　診断レポートの未読・未説明防止システム：運用5年時点の成果と課題

○林 達哉、盛一 健太郎、中村 智美、阿部 由希子、井上 正朝
旭川医科大学病院 医療安全管理部

O-7-3　義歯安定剤の安全な使用を目指して〜義歯安定剤の使用判定基準の作成〜

○小倉 美佳[1]、阿部 葉子[2]、三枝 典子[2]、金井 亜紀子[2]、新井 弘隆[1]、庭前 野菊[2]
[1]前橋赤十字病院 栄養サポート室、[2]前橋赤十字病院 医療安全推進室

O-7-4　入院患者の「口から食べる」安全を支援するための取り組み〜摂食嚥下スクリーニング定着に向けた実装〜

○杉山 理恵
日本医科大学付属病院 看護部

O-7-5　病棟看護師の口腔内観察スキル向上を目指した多職種OJTの導入

○栗田 奈々子、鮫島 瑠美
医療法人徳洲会福岡徳洲会病院、看護部

14:45〜15:45　一般演題（口演）8　研究発表

座長：伊東 弘樹（大分大学医学部附属病院 薬剤部）
梅村 朋（名古屋大学医学部附属病院患者安全推進部）

薬剤・与薬に関する安全管理

O-8-1　インシデント報告を契機とした がん化学療法中のデクスラゾキサン、ペグフィルグラスチム併用による高度血球減少の2例

○井出 貴之[1,3]、服部 咲世子[1]、牧田 ゆかり[1]、秋山 佳之[2]、内藤 隆文[3]、増田 雄一[1]
[1]信州大学医学部附属病院 医療安全管理室、[2]信州大学医学部附属病院 泌尿器科、
[3]信州大学医学部附属病院 薬剤部

O-8-2　内服与薬業務の安全を支える看護師の実践知：Safety-IIの視点からの自由記載分析

○中村 友佳[1,2]、石松 一真[2]
[1]聖路加国際病院看護部、[2]滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科

O-8-3　Aセンターの病棟看護師における与薬時の指差し呼称の実施状況と阻害要因の実態調査

○高橋 夏澄、三村 大輔、荒川 美恵子、福田 佳高、鈴木 佳世子
獨協医科大学日光医療センター 看護部

O-8-4　抗菌薬初回投与時の安全管理体制構築とアレルギー発生率の可視化

○池田 恵子、福井 直子、内藤 光三
地方独立行政法人 佐賀県医療センター好生館

O-8-5　病院薬剤師のプレアボイド報告による医療経済効果

○土屋 広行、笠垣 貴大、岩間 創、内藤 隆文
信州大学医学部附属病院

O-8-6　診療科薬剤師へのタスクシフトを含むコマネジメント導入による大腿骨近位部骨折患者の入院管理の質改善

○永倉 史子、小坂 鎮太郎
東京都立広尾病院 病院総合診療科

15:55〜16:55　一般演題（口演）9　活動報告　　座長：舟越 亮寛（亀田総合病院）
大石 雅子（滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科）

薬剤・与薬に関する安全管理の実践

O-9-1　外来注射薬の一元管理による安全管理と病院経営コストの最適化 ---薬剤師の専門性を活用したタスクシフト・シェアの実践報告---

○小林 義和[1,2]、筧 由紀子[1]、松葉 貴司[2]、大内 道子[2]、鈴木 理江[2]、牧野 光恭[2]
[1]公立西知多総合病院 薬剤科、[2]公立西知多総合病院 医療安全管理室

O-9-2　持参薬処方オーダーの徹底による処方カレンダーの活用 ―多職種による運用ルールの策定を通して―

○牧野 光恭[1]、鈴木 理江[2]、大内 道子[2]、江濱 彩子[2]、小林 義和[2,3]、筧 由紀子[3]、富田 いゆき[3]、赤城 香[4]、長尾 能雅[5]
[1]公立西知多総合病院 循環器内科、[2]公立西知多総合病院 医療安全管理室、[3]公立西知多総合病院 薬剤科、[4]公立西知多総合病院 看護局、[5]名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部

O-9-3　周術期継続薬の運用と課題

○齊藤 江利加[1]、三世川 幸太郎[1]、高麗 貴史[1]、矢島 秀明[1]、三枝 典子[2]、柴田 正幸[3]
[1]前橋赤十字病院 薬剤部、[2]看護部、[3]麻酔科

O-9-4　抗がん剤以外の薬剤による血管外漏出対応の標準化への取り組み ―多職種連携によるアルゴリズムの構築と効果―

○東川 明子[1]、町谷 安紀[2]、楠本 茂雅[1]
[1]社会医療法人生長会、クオリティ・マネジメント本部、[2]社会医療法人生長会、阪南市民病院、薬剤部

O-9-5　看護師が統一した評価ができる内服管理アセスメントシートの改訂を試みて

○小針 千晴[1]、矢島 沙織[1]、岩田 奈津代[2]、塩見 政枝[2]
[1]赤心堂病院 医療安全管理室、[2]赤心堂病院 看護部

O-9-6　血管外漏出の早期発見に向けた患者・家族との協働に対する取り組み

○番匠 章子[1]、冨澤 淳[1,2]、荒井 有美[1]、玄海 泰子[1]、内山 勝文[1,3]
[1]北里大学病院 医療安全推進室、[2]北里大学病院 薬剤部、[3]北里大学医学部 医療安全・管理学研究部門

17:05〜17:55　一般演題（口演）10　活動報告　　座長：河口 豊（滋慶医療科学大学大学院医療管理学研究科）
清水 健司（山梨大学医学部附属病院 臨床工学部）

医療機器・処置に伴う安全管理の実践

O-10-1　高度医療機器の安全運用と診療機能拡大の両立 ～対応録の精査に基づく「手術部外回り」業務の再構築～

○鈴木 雄太[1,4]、庄内 千紘[1]、竹森 加菜子[2]、江島 豊[2]、山内 正憲[3]、坂本 千尋[4]、小林 洋子[4]、松浦 正樹[4]、西條 文人[4]、田畑 雅央[4]
[1]東北大学病院 診療技術部 臨床工学部門、[2]東北大学病院 手術部、[3]東北大学病院 麻酔科、[4]東北大学病院 医療安全推進室

O-10-2　シリンジポンプの設定間違いに対する双方向アラート表示機能の効果

○宇沼 響[1]、阿部 栞太[1]、高橋 大輝[1]、佐藤 ワカナ[2]、川村 久美子[3]、山田 志保[3]
[1]地方独立行政法人 市立秋田総合病院 中央診療部 臨床工学センター、
[2]地方独立行政法人 市立秋田総合病院 手術診療部 麻酔科、
[3]地方独立行政法人 市立秋田総合病院 医療安全推進室

O-10-3　外来内視鏡関連機器の中央管理導入による安全管理体制標準化への取り組み

○藤原 雄太、大山 寛子、大西 拓磨、小薮 翔太、原 怜史、大城 秀太、青塚 達也、青田 恭朋
加古川中央市民病院 臨床工学室

O-10-4　※演題取下げ

O-10-5　脊椎外科手術におけるPowerease® 導入後の手術時間短縮効果

○竹田 章紀
社会医療法人みゆき会 みゆき会病院　業務課

第10会場　アクリエひめじ　4F　409

9:00〜10:00　一般演題（口演）11 研究発表　座長：武居 哲洋（横浜市立みなと赤十字病院 救命救急センター）
橋本 徹（倉敷中央病院HQM推進センター患者安全推進室）

急変対応に関連する臨床研究・教育

0-11-1　2次病院における小児急変予測スコアの検討

○新井 七星[1]、田中 ひかる[2]、村野 弥生[2]、中澤 友幸[2]、斎藤 桃子[1]、佐藤 桂子[1]、小林 昌行[3]、佐藤 伸子[1]、小牧 宏子[1]
[1]東京都立豊島病院看護部、[2]東京都立豊島病院小児科、[3]東京都立多摩北部医療センター看護部

0-11-2　通信機能付きバイタル機器の電子カルテ自動連携システムによるバイタル記録の効果と課題

○中西 智子[1]、松田 智子[1]、山ノ内 祥訓[2]、中村 太志[3]、近本 亮[4]、井原 国代[1]
[1]熊本大学病院看護部、[2]熊本大学病院総合臨床研究部データ管理センター、
[3]熊本大学病院医療情報経営企画部、[4]熊本大学病院医療の質安全管理部

0-11-3　産科危機的出血における対応の時系列分析

○牧田 ゆかり、服部 咲世子、井出 貴之、増田 雄一
信州大学医学部附属病院 医療安全管理室

0-11-4　リハビリテーション専門職における患者急変時のレジリエンス・パフォーマンスの評価とトレーニング効果の検証

○笹沼 直樹[1,2]、高橋 敬子[2]、江口 明世[2]、山内 真哉[1]、橋本 幸久[1]、栄元 一記[1]、本間 敬喬[3]、内山 侑紀[4]
[1]兵庫医科大学病院リハビリテーション技術部、[2]兵庫医科大学医療クオリティマネジメント学、
[3]四条畷学園大学リハビリテーション学部理学療法学専攻、[4]兵庫医科大学リハビリテーション医学講座

0-11-5　救急カート薬剤に関する全職員対象研修の効果と構造的リスクの検討

○池田 宗春、大熊 範和、新木 美枝、坂本 治彦
JCHO群馬中央病院薬剤部

0-11-6　当院リハビリテーション部門における危険予知トレーニング（KYT）実施後アンケートから見えた経験年数と自己評価の関連

○田村 綾子[1]、伊藤 信人[1]、草野 利恵[2]
[1]IMSグループ 医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院 リハビリテーション科、
[2]IMSグループ 医療法人社団 明芳会 高島平中央総合病院 医療安全管理室

10:10〜11:00　一般演題（口演）12 研究発表　座長：橋本 重厚（福島県立医科大学会津医療センター医療安全部）
轟 浩美（一般社団法人igannet）

患者説明・意思決定支援(IC・SDM)

0-12-1　デジタルクローンAI技術による術前説明動画を用いたインフォームド・コンセントの効率化と患者不安の軽減効果

○藤原 晶[1,2]、大高 和人[2]、岡本 千秋[1]、奥山 静香[1]、植田 孝介[1]、小柳 遼[1]、根岸 淳[1]、加藤 達哉[2]、堀田 記世彦[1]
[1]北海道大学病院 患者安全推進部、[2]北海道大学病院 呼吸器外科

0-12-2　未破裂脳動脈瘤治療選択における患者安全とShared Decision Making支援のための不確実性解析

○安心院 康彦[1,4]、深澤 美由記[2]、長島 久[3]
[1]上尾中央総合病院救急科、[2]上尾中央総合病院医療安全管理課、[3]上尾中央総合病院情報管理部、
[4]帝京大学医学部救急医学講座

O-12-3　産科緊急医療介入時における説明のあり方（いつ・誰が・どのように）が充足度・理解度・納得度および分娩満足度に与える影響 ～吸引娩出術に関する検討～

○不殿 絢子[1]、鳥羽 三佳代[2]、森脇 睦子[2]、中部 貴央[3]、小笹 由香[4]
[1]東京科学大学病院 周産・女性診療科、[2]東京科学大学 医療本部 クオリティ・マネジメント・センター、
[3]東京大学医学部附属病院 大学病院データベースセンター、[4]東京科学大学大学院 保健衛生学

O-12-4　高難度新規医療技術のインフォームド・コンセントにおける看護師同席の実態と意思決定支援の質的課題

○木村 香映[1,2]、川邉 桂[1]、望月 秀一[1]、島田 朋子[2]、吉川 貴己[1]
[1]横浜市立大学附属病院 医療の質向上・安全管理センター 高難度新規医療技術評価部、
[2]横浜市立大学附属病院 看護部

O-12-5　血管外科外来における説明動画導入による効果の検証

○福田 萌、浦部 豪、榛葉 恵、晴山 信子、山縣 恵里奈、マレン 真理子、加川 陽子、
池亀 俊美
榊原記念病院

11:10～12:00　一般演題（口演）13　研究発表

座長：兼児 敏浩（三重大学医学部附属病院 医療安全管理部）
西平 淳子（登川脳神経内科クリニック）

コミュニケーション・NTS向上のための教育手法

O-13-1　医療安全実践における「聴く」機能の検討 ―患者対応・苦情対応・チーム内対話・インシデント対応の比較―

○小松 裕司[1,2]、荒木 智一[3]、米坂 聡一郎[1]、田辺 悦章[4]
[1]大阪ハイテクノロジー専門学校診療放射線技師学科、[2]岡山大学大学院保健学研究科放射線技術科学分野、
[3]東京メディカルクリニック放射線科、[4]岡山大学学術研究院保健学域放射線技術科学分野

O-13-2　傾聴訓練におけるWeb教材としての模擬体験動画の有用性の検討 ―三者視点による学習体験に着目して―

○小松 裕司[1,2,3]、荒木 智一[1,4]、大井 慎也[1,5]、五十嵐 博[1,6]、下平 和紀[1,7]、本間 光彦[1,8]、
竹下 晋司[1,9]、芦葉 弘志[1]、小林 香緒利[1,10]、地主 明弘[1]
[1]日本放射線カウンセリング学会、[2]大阪ハイテクノロジー専門学校診療放射線技師学科、
[3]岡山大学大学院保健学研究科放射線技術科学分野、[4]東京メディカルクリニック放射線科、
[5]桑名市総合医療センター放射線室、[6]群馬県立県民健康科学大学診療放射線学部、
[7]下伊那赤十字病院放射線技術課、[8]つくば国際大学医療保健学部診療放射線学科、
[9]延岡市医師会病院法人経営戦略室、[10]松蔭病院放射線科

O-13-3　多職種医療従事者を対象とした傾聴訓練による認識変容

○荒木 智一[1,2]、小松 裕司[2,3,4]、鶴島 康晃[1]、三原 嵩大[1]、橋本 和大[1]、野尻 龍二[1]、塩見 統子[5]
[1]健診会 東京メディカルクリニック 放射線科、[2]日本放射線カウンセリング学会、
[3]大阪ハイテクノロジー専門学校 診療放射線技師学科、[4]岡山大学大学院保健学研究科放射線技術科学分野、
[5]日本産業カウンセラー協会 東京支部

O-13-4　医療の質・安全教育における効果的・効率的なNon-Technical Skills強化のための実践教育手法とその効果検証

○北野 達也
星城大学 経営学部 医療マネジメント分野／医療マネジメント研究室

O-13-5　QuickSAFER®を用いた教育プログラムに対するOJT後の評価

○川西 美佐[1]、川畑 貴寛[1]、三輪 晃子[1]、三河内 敬子[2]、谷口 理恵[2]、寺本 辰美[2]、荒木 美香[2]
[1]日本赤十字広島看護大学、[2]庄原赤十字病院

12:30〜13:20　教育セミナー7

座長：中村 京太（横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質・安全管理部）

スポットチェックシステム導入による業務効率化と医療安全の向上
―手動からデジタルへ、看護業務の変化―

○松崎 佳小里
一般財団法人太田綜合病院附属太田西ノ内病院 業務改革推進室

共催：フクダコーリン株式会社

14:45〜15:45　一般演題（口演）14　研究発表

座長：上間 あおい（大阪大学医学部附属病院中央クオリティマネジメント部）
小池 大助（名古屋大学医学部付属病院 患者安全推進部）

経管栄養・リハビリ・患者確認に関する安全対策

0-14-1　透析室ブリーフィングにおける二人相互確認体制導入によるインシデント低減効果

○鈴木 万恭子[1,3]、平野 一[2]、伊藤 憲[1]、熊丸 隆司[1]、山崎 かおり[3,4]、松村 剛毅[4]、小松 康宏[4]、清水 優子[4]、世川 修[4]、花房 規男[2]
[1]東京女子医科大学病院臨床工学部、[2]東京女子医科大学病院血液浄化療法科、
[3]東京女子医科大学病院看護部、[4]東京女子医科大学病院医療安全推進部

0-14-2　内服薬投与時におけるバーコード照合導入による患者誤認防止効果と今後の展望

○荒巻 美鈴、新鹿 深夏、福村 文雄、小田 浩之
飯塚病院 医療安全推進室

0-14-3　循環器専門病院・附属クリニックにおける成人移行支援の実装に関する促進・阻害要因

○宗川 一慶[1,2]、奥山 絢子[3]
[1]公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 看護部、
[2]聖路加国際大学 大学院看護学研究科 看護とデータサイエンス 博士後期課程、
[3]聖路加国際大学 大学院看護学研究科・公衆衛生大学院

0-14-4　リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算における専従療法士の病棟内業務とADL利得 ―多施設共同研究による交互作用解析―

○安田 耕平[1,2]、上條 由美[3]、的場 匡亮[3]、森 雅大[4]、薬師 健正[5]、豊田 幹彦[6]、伊藤 信人[7]、榎本 陽介[8]
[1]昭和医科大学大学院 保健医療学研究科 医系基礎・専門・教育分野、
[2]帝京科学大学 医療科学部 東京理学療法学科、[3]昭和医科大学、[4]名古屋掖済会病院、[5]東川口病院、
[6]新松戸中央総合病院、[7]高島平中央総合病院、[8]セコメディック病院

0-14-5　脳血管疾患後の嚥下リハビリにおける標準計画の検討
―患者状態に適応した標準コンテンツの妥当性評価の試み―

○加藤 省吾[1]、中島 栄子[2]、井手 睦[3]、水流 聡子[1]
[1]東京大学総括プロジェクト機構、[2]社会医療法人雪の聖母会 聖マリア病院、
[3]社会医療法人雪の聖母会 聖マリアヘルスケアセンター

0-14-6　経管栄養チューブ誤挿入を“見える化"する試み：
近赤外光式位置確認装置による早期異所性留置検出能力の検討

○間藤 卓、江浦 史生
自治医科大学 医学部 救急医学講座 ／ 附属病院 救命救急センター

15:55〜16:55　一般演題（口演）15　研究発表

座長：脇山 瑶子（横浜市立大学附属市民総合医療センター 医療の質安全管理部）
谷口 雄司（鳥取大学医学部附属病院医療安全管理部）

RRS・急変対応システムの評価

O-15-1　予定外挿管の背景と成績：単施設後ろ向き研究

○小畑 荘平[1]、樋口 亮介[2]、石本 由貴[1]、片山 雪子[1]、七里 守[2,3]、細田 徹[3]、佐々木 京子[3]
[1]公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 看護部、
[2]公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 循環器内科、
[3]公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 医療の質・安全管理部

O-15-2　院内迅速対応システム（RRS）導入前後の看護師の心境と行動の変化

○大塚 文人、荒谷 有香
一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院

O-15-3　MET起動時における高度治療介入および14日死亡予測モデルの開発 ―治療強度と死亡リスクの二軸評価―

○島内 淳二[1]、西野 拓也[2]、伊藤 博希[3]、重田 健太[4]、間瀬 大司[5]、山本 剛[6]、横堀 將司[4]、石川 真士[7]
[1]日本医科大学付属病院 外科系集中治療室、[2]日本医科大学 医療管理学、
[3]日本医科大学付属病院 医療安全管理部 医療安全室、[4]日本医科大学 救急医学教室、
[5]日本医科大学付属病院 外科系集中治療科、[6]日本医科大学付属病院 心臓血管集中治療科、
[7]日本医科大学 麻酔科学教室

O-15-4　RRS起動までの時間と院内死亡の関連

○池田 美智子、藤本 晃治、米原 美奈子、道中 恵、池田 安宏
山口県立総合医療センター

O-15-5　急変振り返りカンファレンスから得られた教訓のテキスト分析

○上山 順子[1]、徳永 あゆみ[2]、吉宮 ナナ[3]、川瀬 亜樹子[1]、安藤 有子[3]、宮﨑 浩彰[2]
[1]関西医科大学附属病院 医療安全管理部、[2]関西医科大学 医療安全管理センター、
[3]関西医科大学附属病院 看護部

O-15-6　院内トイレ内急変の早期発見を目的とした非接触見守りシステムと汎用AIを応用した高精度異常検知アルゴリズム構築への挑戦

○齊藤 朋人[1]、小林 信明[2]、徳永 あゆみ[3]、川瀬 亜樹子[4]、高村 明美[5]、諏訪 照美[5]、佐々木 健一[6]、宮崎 浩彰[3]、村川 知弘[1]
[1]関西医科大学附属病院 呼吸器外科、[2]株式会社メディカルプロジェクト、
[3]関西医科大学 医療安全管理センター、[4]関西医科大学附属病院 医療安全管理部、
[5]関西医科大学附属病院 看護部、[6]関西医科大学 イノベーション・ベンチャー推進室

17:05〜17:55　一般演題（口演）16　研究発表

座長：黒川 美知代（日本赤十字社 医療事業推進本部 医療の質・研修部）
甲斐 由紀子（（元）宮崎大学医学部附属病院 医療安全管理部）

身体的拘束と転倒転落の関連

O-16-1　急性期病院における認知機能低下患者の転倒の特徴 ―再転倒リスクと発生場所の検討―

○西沢 幸子[1]、直長 史也[2]、千葉 寛子[2]、岡村 大介[2]、笠井 愛[1]
[1]聖路加国際病院ＱＩセンター医療安全管理室、[2]聖路加国際病院リハビリテーション科

O-16-2　身体的拘束中の転倒転落インシデントの現状分析 ～今後の予防策に活かすために～

○加藤 萌乃、松原 まどか
（地独）東京都立病院機構 東京都立大久保病院

O-16-3　身体的拘束最小化に向けた継続研修による職員の意識変容と 転倒・転落対策の変化

○石津 真由美
東住吉森本病院

O-16-4　A病院における身体的拘束に対する看護師の認識調査

○福井 恵美、霜田 純子、里 久美子、坂井 直哉
喜界徳洲会病院外来

O-16-5　NICU看護師の身体拘束ゼロに向けた行動変容　第3報：行動変容ホイールの介入機能の枠組みからみたアプローチ

○清水 彩[1]、鷲山 聡子[2,3]、増島 絵里子[2,4]、中村 綾子[2,3]、井出 由美[2,3]
[1]大阪公立大学大学院看護学研究科、[2]昭和医科大学大学院保健医療学研究科臨床ケア開発学領域、[3]昭和医科大学病院、[4]昭和医科大学病院附属東病院

ワークショップ会場1　アクリエひめじ　1F　スタジオ1

9:00〜10:00　**【社会医学系専門医協会友好会員承認記念】**
社会医学系専門医協会 指導医講習会

座長：原田 賢治（東京農工大学 保健管理センター）

講師：今中 雄一（社会医学系専門医協会／京都大学 大学院医学研究科 医療経済学分野）

10:40〜12:10　**ワークショップ 1**

患者の「経験」から医療を変える！〜ペイシェント・ジャーニーマップを作ってみよう〜

講師：安藤 潔（一般社団法人 日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会）

講内 源太（一般社団法人 日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会／
株式会社ケアフォレスト 在宅支援部）

青木 拓也（一般社団法人 日本ペイシェント・エクスペリエンス研究会／
東京慈恵会医科大学 総合医科学研究センター 臨床疫学研究部）

共催：一般社団法人 日本ペイシェント・エクスペリエンス(PX)研究会

ワークショップ会場2　アクリエひめじ　4F　404

11:10〜12:10　共催ワークショップ 1

VAD管理の未来を共に創る：エビデンスから実践まで
〜エコーを使って留置可能な血管を見つけよう〜

講師：阿部 麻里（次世代看護教育研究所 研究・開発部／東京大学病院 看護部）

山田 桃子（前 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野）

共催：ニチバン株式会社／富士フイルムメディカル株式会社

14:50〜15:50　共催ワークショップ 2

VAD管理の未来を共に創る：エビデンスから実践まで
〜エコーを使って留置可能な血管を見つけよう〜

講師：阿部 麻里（次世代看護教育研究所 研究・開発部／東京大学病院 看護部）

山田 桃子（前 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 母性看護学・助産学分野）

共催：ニチバン株式会社／富士フイルムメディカル株式会社

ポスター会場	デジタルポスター①～④：アクリエひめじ　1F 展示場A デジタルポスター⑤：2F 大ホールホワイエ デジタルポスター⑥：2F 中ホールホワイエ

9:00～9:54　一般演題（ポスター）1　活動報告　デジタルポスター①

座長：菅野 隆彦（下伊那厚生病院）

組織運営・方針管理・質改善活動・患者説明・IC・SDM・身体拘束最小化

P-1-1　臨床倫理相談の活性化に向けた相談フロー再構築の効果
村山 真弓
医療法人五星会菊名記念病院

P-1-2　インシデント報告の増加と充実を目的とした報告システム名称変更とインセンティブ導入の効果
久保 和彦　ほか
千鳥橋病院 クオリティマネージメントセンター

P-1-3　Quality Control（QC）の改善プロセスに沿ったチーム活動シートの有効性
山田 紀昭　ほか
社会福祉法人恩賜財団済生会横浜市東部病院

P-1-4　組織的に改善を維持・継承していくための事務局機能の見直し
渡邊 輝樹　ほか
社会医療法人同心会 古賀総合病院

P-1-5　IC同席推進月間の取り組みと意思決定支援の質向上への効果
大庭 明子　ほか
自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部

P-1-6　A病棟看護職員のチームコミュニケーション行動の実態調査
鬼頭 真樹子　ほか
愛知医科大学病院 看護部

P-1-7　院内手話通訳によるろう者との対話支援　―患者中心の医療とパートナーシップ形成に向けて―
吉田 玲子　ほか
北里大学病院トータルサポートセンター

P-1-8　身体拘束最小化に向けた医療従事者への認識調査と現場での課題について
舩越 幸美　ほか
社会医療法人 美杉会 男山病院

P-1-9　余命半年と告知された膵臓癌末期患者への説明と意思決定支援の実際
渡邊 両治
埼玉石心会病院 病院安全管理部 医療安全対策室

9:00～10:00　一般演題（ポスター）2　活動報告　デジタルポスター②

座長：新谷 拓也（大阪大学医学部附属病院 薬剤部）

薬剤・与薬安全管理（1）

P-2-1　昭和医科大学附属8病院における医薬品安全管理責任者会議の設置とその意義
田中 広紀　ほか
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院薬局

P-2-2　新規インスリンシステム導入に伴う薬剤インシデント低減に向けた体制づくり
田村 美紀　ほか
順天堂大学医学部附属静岡病院 看護部

P-2-3　処方カレンダーシステム導入後に残存する誤薬リスク分析と今後の課題
杉山 希　ほか
順天堂大学医学部附属静岡病院 医療安全管理室

P-2-4　低カリウム血症対応に対する院内ガイドライン整備とPDCAサイクルを用いた医療安全向上の取り組み
森 京子　ほか
静岡県立静岡がんセンター 薬剤部

P-2-5　当院の抗菌薬適正使用支援チームによる感染性心内膜炎見落とし防止への取り組み
市瀬 雄一　ほか
飯田市立病院 薬剤部

P-2-6　処方システム導入後の配薬手順の遵守に向けた師長ワーキングの取り組み
山口 礼　ほか
順天堂大学医学部附属静岡病院 看護部

P-2-7　外国人関連インシデントの特徴と対策
石井 健　ほか
国家公務員共済組合連合会 国際部、品質管理室、集中治療科

P-2-8　処置介入のために抗凝固薬を休止した後の処方再開忘れ防止に対するDXシステムの導入
佐野 隆大　ほか
兵庫県立はりま姫路総合医療センター医療安全部／兵庫県立はりま姫路総合医療センター薬剤部

P-2-9　高濃度カリウム注射剤の安全使用に向けた院内マニュアル導入の取り組みとその効果
矢賀 和子　ほか
山口大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部／山口大学医学部附属病院 薬剤部

P-2-10　フェンタニル注射液譲受時の箱単位重量秤量による薬液消失検知体制の構築
内田 夕喜　ほか
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 薬剤部／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 医療安全管理室

9:00〜10:00　一般演題（ポスター）3　活動報告　デジタルポスター③

座長：徳永 あゆみ（関西医科大学 医療安全管理センター）

転倒・転落対策（1）

P-3-1　幼児期のベッドからの転落を予防するための家族を含めた包括的介入
岸 裕子　ほか
あいち小児保健医療総合センター 看護部

P-3-2　初期対応の迅速化と記録標準化を実現した視覚フローの開発と活用
髙橋 香　ほか
留萌市立病院 医療安全推進室

P-3-3　モデル病棟における転倒・転落防止フローの遵守向上と重大事故低減に向けた取り組み
上島 智子　ほか
日高徳洲会病院

P-3-4　精神科病院における転倒・転落事案の実態調査　―多職種協働による再発率半減への提言―
西島 憲一　ほか
地方独立行政法人静岡県立病院機構静岡県立こころの医療センター

P-3-5　転倒転落件数の低減に向けた多職種間の取り組みとその効果

岩井 友紀　ほか
名古屋徳洲会総合病院整形外科病棟

P-3-6　転倒・転落のリスク評価精度の改善と頭部打撲発生後の記録記載率の向上への取り組み

服部 咲世子　ほか
信州大学医学部附属病院 医療安全管理室

P-3-7　患者・家族を巻き込んだ転倒予防の取り組み～「手をつないで歩こうスタンプラリー」の導入～

石井 玲子　ほか
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター

P-3-8　施設環境から多職種で考える転倒予防の取り組み

佐々木 京子　ほか
公益財団法人 榊原記念財団 附属 榊原記念病院 医療の質・安全管理部

P-3-9　セラピストレジデント制度導入前後における経験年数1-2年目の若手セラピストによるリハビリテーション実施中の転倒の実態

佐藤 滉一郎　ほか
社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 リハビリテーション部

P-3-10　転倒転落防止分析シートにおける評価視点の標準化に向けた取り組み
―副師長会による現状分析と評価ガイド導入のプロセス―

矢嶋 恵理　ほか
信州大学医学部附属病院 高度救命救急センター

9:00～10:00　一般演題（ポスター）4　活動報告　デジタルポスター④

座長：大野 喬亮（山梨大学医学部附属病院 臨床工学部）

画像・検査結果の未読未対応・医療機器・処置手技の安全

P-4-1　読影レポート既読管理システムの運用実態と課題 -5ヶ月間の分析による未読リスクの可視化-

北爪 亮介　ほか
札幌東徳洲会病院 放射線科

P-4-2　画像診断レポート未読に対する未読確認管理者（ミドカン）導入の有効性

脇田 美和　ほか
愛知医科大学病院 医療安全管理室

P-4-3　低予算で実現した重要所見フラグ導入とその効果

谷澤 利栄　ほか
市立大津市民病院 放射線部

P-4-4　CT/MRI検査の重要所見レポート未読防止システムの一例

伊東 文倫　ほか
京都民医連中央病院医療安全管理部

P-4-5　Critical Value報告対象項目の見直しと報告後の医師対応状況の把握―死亡例を含む101例の検討―

小宮 顕　ほか
亀田総合病院 医療安全管理室

P-4-6　計画外抜管に関する記録の標準化に向けた現状把握―インシデントレポート報告からの分析―

小畑 美加子　ほか
自治医科大学附属病院 医療の質向上・安全推進センター

P-4-7　**MRI検査における体内留置型医療機器情報に関する地域医療連携の取り組み**
福永 正明　ほか
倉敷中央病院 放射線技術部／倉敷中央病院 医療イノベーション推進室

P-4-8　**酸素流量計管理の標準化に向けた多職種連携の取り組み**
中村 麻弥　ほか
泉大津急性期メディカルセンター クオリティ管理センター 医療安全管理室

P-4-9　**「既読管理」から「行動直結」へパラダイムシフト**
～重要画像所見に対するアクション完遂率100％を目指して～
深澤 美由記　ほか
医療法人社団愛友会 上尾中央総合病院 情報管理部 医療安全管理課

P-4-10　**画像読影見逃しに対する当院の取り組み ～責任の共有と当事者意識の観点から～**
吉田 隼平　ほか
医療法人社団一葉会 佐用共立病院

9:00～9:54　**一般演題（ポスター）5**　活動報告　デジタルポスター⑥

座長：中村 康彦（横浜市立大学附属市民総合医療センター 放射線部）

医療機器・処置手技の安全

P-5-1　**医療機器の適応外使用に対する医療安全管理上の審査・評価体制の実情と課題；循環器領域2事例からの検討**
小川 孝二郎　ほか
筑波大学附属病院 医療安全管理部

P-5-2　**摘便補助袋「摘便バッグ　ベントレール」～医療者と協働での試作品づくりの5年間～**
東浦 裕一　ほか
小池イマテクス株式会社 西日本営業部

P-5-3　**アラームレポートの活用による医療機器アラームの可視化と運用改善への取り組み**
金田 裕美子　ほか
筑波大学附属病院 医療安全管理部／筑波大学附属病院 看護部

P-5-4　**法人内多施設合同会議による医療安全体制の高度化と標準化の推進**
～加算Ⅰ・Ⅱ連携の本来あるべき理想形を見据えて～
楠本 茂雅　ほか
社会医療法人生長会 クオリティ・マネジメント本部

P-5-5　**輸液ポンプの気泡センサ機構の破損に伴うインシデントを経験して**
相木 一輝　ほか
名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部／名古屋大学医学部附属病院 医療機器総合管理部

P-5-6　**アルドレートスコアを用いた内視鏡退室基準の標準化と安全性**
明石 香澄　ほか
友愛記念病院 医療安全推進室

P-5-7　**輸液ラインの使用実態調査と標準化による適正使用と医療安全の向上**
伊藤 雅美
山梨大学医学部附属病院

P-5-8　**全診療科アンケートに基づくIC補助動画の優先導入と運用設計**
森岡 浩一　ほか
福井大学医学部医療安全管理部

P-5-9　患者移動時の機器交換削減を目的とした病棟横断的医療機器運用体制の構築

佐々木 恵
川崎医科大学総合医療センター MEセンター

10:10〜11:10　一般演題（ポスター）6　活動報告　デジタルポスター①

座長：西條 文人（東北大学病院医療安全推進室）

教育・研修・シミュレーション（1）

P-6-1　食物アレルギー原因食材の提供ゼロを目指した取り組み
〜食事オーダ自動反映システム導入後の評価（第2報）〜

冨澤 淳　ほか
北里大学病院医療安全推進室／北里大学病院薬剤部

P-6-2　CIEDs関連インシデントの分析と多職種協働による安全管理体制の構築

手嶋 優貴　ほか
JA愛知厚生連 豊田厚生病院 臨床工学室

P-6-3　ImSAFER手法を応用したサーバーセキュリティ机上訓練の実施

太田原 顕　ほか
米子東病院／ ASUISHI-QSO プロジェクト

P-6-4　ER時間外診療におけるクローズドループ型重要所見管理システムの構築と運用実績

中西 敏博　ほか
トヨタ記念病院 医療安全管理グループ

P-6-5　集中治療室におけるスタッフ間の声かけ促進による安全な療養環境づくりへの取り組み
〜「おせっかいプロジェクト」の実践〜

平澤 結衣　ほか
北里大学病院 看護部EICU

P-6-6　新規検査導入におけるリスクベースドアプローチに基づく業務プロセスの構築
―スタッフの混乱と負担を最小化する新規業務マネジメントの実際―

和田 純子　ほか
神戸大学医学部附属病院看護部

P-6-7　委託業務のトラブル事例に関するインシデントレポート報告について

小田 慶治
学校法人慈恵大学法人事務局財務部施設課整備係

P-6-8　MACT始動1年経過した看護現場への生体情報モニタにまつわる意識調査結果
ー看護現場の教育課題を明らかにし今後の方策を模索するー

牧田 彰一郎　ほか
地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院 医療安全管理室

P-6-9　医療安全研修と研修後データ処理の省力化

増田 雄一　ほか
信州大学医学部附属病院医療安全管理室

P-6-10　医療安全管理者から部署リスクマネージャーへの業務改善活動の移行と定着に向けた取り組み

岡田 美香　ほか
公立学校共済組合 東海中央病院 医療の質・安全管理室

10:10〜11:10　一般演題（ポスター）7　活動報告　デジタルポスター②

座長：渡邉 幸子（医療法人社団哺育会 白岡中央総合病院 医療安全管理課）

薬剤・与薬安全管理（2）

P-7-1　短期入院患者における入院時持参薬確認時の薬学的管理状況に関する実態調査

田中 広紀　ほか
昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 薬局／昭和医科大学薬学部病院薬剤学講座病院薬剤学部門

P-7-2　薬剤師の皆さん、ありがとう！　当院における内服薬の投与忘れに対する薬剤管理部門との協働〜患者に安全を、職員には安心を〜

霧下 由美子　ほか
奈良厚生会病院 看護部

P-7-3　投与間隔情報の可視化による医療安全の向上と監査業務の効率化

下村 一徳　ほか
市立池田病院薬剤部

P-7-4　多職種協働による医薬品安全ラウンドの経年分析 ―医薬品安全管理モデルの構築と標準化―

倉地 果純　ほか
大阪医科薬科大学病院薬剤部／大阪医科薬科大学病院医療安全推進室

P-7-5　薬剤課インシデント分析からみたSafety-Iの限界とSafety-IIの可能性の検討

角川 由佳　ほか
京都民医連あすかい病院 薬剤課

P-7-6　当院放射線部門における過去4年間のインシデントから特徴的であった2つの事例についての報告

日下部 美奈子　ほか
千鳥橋病院 医療安全管理対策委員会

P-7-7　ダブルバッグ製剤の隔壁開通忘れに対する製剤変更の有効性評価

筒井 梨沙子　ほか
神戸アドベンチスト病院薬剤科

P-7-8　処方オーダリングシステムを活用した定数配置薬使用時の禁忌薬投与防止への取り組み

三宅 清美　ほか
大分大学医学部附属病院 医療安全管理部

P-7-9　病棟でのインシデントレポートレベル0報告推進に向けた取り組み

新保 将　ほか
群馬大学医学部附属病院 南病棟8階

P-7-10　内服薬与薬における確認手順の見直し―シングルチェックとダブルチェック実施場面の明確化―

濱田 亜沙美　ほか
名古屋大学医学部附属病院 9E病棟

10:10〜11:04　一般演題（ポスター）8　活動報告　デジタルポスター③

座長：瀬川 玲子（山梨大学大学院総合研究部 医学域医療安全学講座）

転倒・転落対策（2）

P-8-1　転倒転落ヒヤリハット事例から職員の実践知を抽出する試み

進藤 竜太　ほか
藤田医科大学病院 医療の質・安全対策部 医療の質管理室

P-8-2　入院患者におけるレベル3b以上の転倒転落ゼロ化に向けた取り組み
杉本 直樹　ほか
埼玉医科大学国際医療センター 医療安全対策室

P-8-3　がん専門病院における転倒転落患者の状況と予防対策の検討
戸崎 加奈江　ほか
愛知県がんセンター 医療安全管理部 医療安全管理室／愛知県がんセンター医療の質改善部 医療の質改善室

P-8-4　低床解除フローチャートを活用した転倒転落による有害事象低減への取り組み
野口 明子
社会福祉法人十善会 十善会病院

P-8-5　病院移転に伴う療養環境の変化と転倒転落発生状況の多角的分析
佐久間 博明　ほか
国立大学法人 琉球大学病院

P-8-6　理学療法士による院内多職種向けの転倒予防動画導入の取り組み
鶴谷 梨恵　ほか
大阪医科薬科大学病院 リハビリテーション科

P-8-7　インシデントレポート入力方式の見直しによる業務効率化と報告精度向上の取り組み
此川 衣子　ほか
群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部／群馬大学医学部附属病院 看護部

P-8-8　緩衝マットの設置を看護の標準化に
須藤 久代
磐田市立総合病院

P-8-9　患者の尊厳を守る転倒対策―可変剛性構造体マットによる非拘束型安全管理の取り組み―
酒井 稔子　ほか
医療法人偕行会 偕行会城西病院

10:10～11:10　一般演題（ポスター）9

活動報告　デジタルポスター④

座長：郷間 巌（堺市立総合医療センター呼吸器内科、栄養管理センター）

モニター・アラーム管理（1）

P-9-1　小児科病棟におけるアラームレポートを活用した多職種アラーム低減活動の取り組み
山岸 八重乃　ほか
自治医科大学附属さいたま医療センター 医療安全・渉外対策部

P-9-2　セル看護再構築とアラームマネジメント改善による患者安全文化への影響
井上 知　ほか
石巻赤十字病院 医療安全推進課

P-9-3　耳原版　MACT始めました
野田 修司　ほか
耳原総合病院 臨床工学科 医療安全管理室

P-9-4　携帯用生体監視モニター導入による急変即応体制の構築
奥山 亜希子　ほか
みやざ県南中核病院

P-9-5　異常の早期発見に向けた生体監視モニタ管理への取り組み
大海 健也　ほか
九州大学病院北棟11階1病棟

P-9-6　**成人病棟におけるSpO_2プローブ変更後の関連アラーム発生傾向**

佐々木 雄一　ほか
東京慈恵会医科大学附属病院 臨床工学部

P-9-7　**循環器病棟におけるテクニカルアラーム低減に向けた取り組み**

上原 久瑠美　ほか
群馬大学医学部附属病院

P-9-8　**生体情報モニター管理ワーキンググループの2年間の活動報告**
～入床手順チェックリスト導入によるモニター管理の改善～

上野 福美　ほか
和歌山県立医科大学附属病院 医療安全推進部

P-9-9　**RRSによるテクニカルアラーム削減への取り組み**
―真に重要なアラームを見落とさない環境を構築するために―

黒田 祐規　ほか
東京慈恵会医科大学西部医療センター 臨床工学部

P-9-10　**医療機器安全管理責任者の立場からモニターアラームコントロールチーム（MACT）の導入へむけた取り組み**

平石 英司　ほか
北海道立子ども総合医療・療育センター 臨床工学科兼医療安全推進室

10:10～11:10　**一般演題（ポスター）10**　活動報告　デジタルポスター⑤

座長：須田 喜代美（一般財団法人竹田健康財団竹田綜合病院 医療の質管理部 医療安全管理室）

RRS・急変対応

P-10-1　**要請側・出動側双方の共創によるSafety-Ⅱの概念を取り入れたコードブルー作業部会**
～もっと良くなるパフォーマンスへ～

今崎 由起子　ほか
公立大学法人大阪 大阪公立大学医学部附属病院

P-10-2　**救命医を含まない特定行為研修全区分修了看護師が専従するRapid Response Team（RRT）の有効性についての検討**

土屋 大星　ほか
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 看護部

P-10-3　**看護師主体型Rapid Response Teamの活動評価**

藤原 邦康　ほか
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 救命救急センター 看護部

P-10-4　**RRTメンバーであるクリティカルケア認定看護師を一般病棟に配置する期待とその効果**

川瀬 亜樹子　ほか
関西医科大学附属病院 医療安全管理部

P-10-5　**院内コードブルー事例の振り返りと早期介入体制の構築**

新田 智子　ほか
医仁会 さくら総合病院

P-10-6　**SRRS立ち上げ半年間の運用状況と導入効果の厳格な検討による早期相談文化の熟成**

附田 佳織　ほか
杏林大学医学部付属杉並病院

P-10-7　**電子化報告書・会議連携による院内急変対応体制の検証効率化**

三枝 典子　ほか
前橋赤十字病院 看護部

P-10-8　クリティカルケア認定看護師のRRS専従配置が院内重症化予防に与えた効果
右近 好美　ほか
東京慈恵会医科大学附属柏病院 看護部

P-10-9　RRT要請遅延を減らすための人材育成の取り組み
岡田 瑞恵　ほか
北里大学病院 看護部

P-10-10　RRS要請の心理的障壁に対する介入と要請行動の変化
松井 貴生　ほか
社会医療法人大雄会 総合大雄会病院看護部ICU

10:10〜11:04　一般演題（ポスター）11　活動報告　デジタルポスター⑥

座長：松田 晋也（東京都済生会向島病院 医療安全管理室）

医療機器・処置手技の安全・生成AI・DX活用

P-11-1　胃管自己抜去事例の自由記載分析における生成AI活用の試み
遠藤 貴子　ほか
筑波大学附属病院 医療安全管理部

P-11-2　医療安全管理業務における生成AI活用の現状と課題 〜小規模病院における実践と試行錯誤〜
橋爪 博隆　ほか
新生会第一病院 医療安全推進室

P-11-3　既存のワークフローシステムを活用したアクシデントレポート電子化の導入効果
山口 裕一　ほか
刈谷豊田総合病院 安全環境管理室／刈谷豊田総合病院 リハビリテーション科

P-11-4　文書棚卸のために2つの文書管理システムの不整合解消を目的として実施した突合作業について
松井 敦　ほか
前橋赤十字病院小児科

P-11-5　内視鏡領域におけるCE参入のトラブル対応効率化と経済性向上への寄与
松岡 諒　ほか
自治医科大学附属病院臨床工学部

P-11-6　消化器内視鏡室における介助業務標準化への取り組み
坂野 梨絵　ほか
福岡徳洲会病院 臨床工学科

P-11-7　多職種連携による小児鎮静MRI検査の運用標準化
富田 陽子　ほか
藤田医科大学病院

P-11-8　加温加湿器関連インシデントにおけるUI設計と認知特性の影響の検討
加藤 孝昭　ほか
名古屋大学医学部附属病院 臨床工学技術部

P-11-9　キセノン紫外線照射ロボットの影響を受ける人工呼吸器 Puritan Bennett 840 におけるタッチパネル赤外線の光学的特性
宇留野 達彦　ほか
大阪大学医学部附属病院 臨床工学部／大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

11:20～12:20　一般演題（ポスター）12　活動報告　デジタルポスター①

座長：田尻 和人（富山大学附属病院 医療安全管理部）

教育・研修・シミュレーション（2）

P-12-1　全員参加型KAIZEN活動を通じたKAIZEN文化醸成への取り組み
ー「職員の誰もが考え、変えてよい」を目指した10年間ー
後藤 啓士郎　ほか
社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 TQM部／社会福祉法人 恩賜財団 済生会熊本病院 リハビリテーション部

P-12-2　成人5病棟が協働したプロトコル統一整備と電子的データ管理体制の構築
大貫 明子　ほか
公益財団法人 榊原記念財団 附属 榊原記念病院 看護部

P-12-3　ICTを活用した生体情報モニタリングによる業務効率化と運用上の課題に関する検討
石原 麻美　ほか
大阪はびきの医療センター、臨床工学技士室

P-12-4　口腔ケアチームの教育介入によるA病棟看護師の統一したケア実践の確立
高地 香枝　ほか
国立病院機構下志津病院

P-12-5　産科病棟QI活動としての多職種・組織横断的連携
―グレードAカイザーにおける児娩出時間短縮を目指して―
田口 弘美　ほか
熊本大学病院 医療の質・安全管理部

P-12-6　急性期病院における臨床倫理コンサルテーションチームの活動推移と定着に向けた取り組み
宮原 直美　ほか
社会医療法人大雄会 総合大雄会病院　ICU

P-12-7　緊急気道確保アルゴリズムが機能しなかった要因分析～ノンテクニカルスキルに着目した課題の検討～
谷口 栄
社会医療法人生長会 ベルランド総合病院 医療安全管理室

P-12-8　接遇医療サービス向上を目指した取り組み（第3報）
老沼 健一　ほか
社会医療法人中山会 宇都宮記念病院リハビリテーション科

P-12-9　成人緊急VA-ECMO導入体制の標準化とECMOコール新設に向けた多職種協働
川上 千年　ほか
横浜市立大学附属病院 臨床工学部

P-12-10　大学病院におけるTeamSTEPPS®研修の持続的発展に向けた事業計画の再構築
―ロジックモデルを用いたプログラム評価と目標共有の試み―
山崎 かおり　ほか
東京女子医科大学病院 医療安全推進部

11:20～12:14　一般演題（ポスター）13　活動報告　デジタルポスター②

座長：伊東 弘樹（大分大学医学部附属病院 薬剤部）

薬剤・与薬安全管理（3）

P-13-1　FMEAやってみた　～フェンタニル枯渇危機への緊急対応～
中嶋 いくえ　ほか
済生会熊本病院 TQM部 医療安全管理室

P-13-2　透析患者の重複処方の事例を教訓とした「お薬手帳」の現状把握と活用方法の検討

櫻井 ゆかり　ほか
医療法人 仁友会 北彩都病院

P-13-3　筑波大学附属病院における医薬品の禁忌・適応外使用の把握（第2報）

山中 陽平　ほか
筑波大学附属病院 医療安全管理部／筑波大学附属病院 薬剤部

P-13-4　入院時必要時指示における安全性向上への取り組み
―薬剤アレルギー情報の共有化と定数配置薬の適正化を通して―

中原 浩子
医療法人誠和会 倉敷紀念病院 薬剤科

P-13-5　周術期の末梢型DVTに対するDOAC適正使用に向けた取り組み

川邉 桂　ほか
横浜市立大学附属病院 医療安全管理部

P-13-6　内服薬誤投与による患者への有害事象（患者影響度レベル2以上）をゼロにする【第2報】

浦崎 圭太　ほか
JCHO中京病院 薬剤部／ JCHO中京病院 医療安全管理室／名古屋大学医学部附属病院 EQSO/AQSOプロジェクト

P-13-7　※演題取下げ

P-13-8　ICUにおける稀少重大インシデント再発防止策の形骸化防止に向けた取り組み
― 当事者意識の醸成と日常業務への埋め込みを目指した単一部署での実践報告 ―

森安 恵実　ほか
北里大学病院 看護部 救急ICU

P-13-9　名称類似による院内製剤の取り違い事例の要因分析とシステム改善

石田 卓矢　ほか
浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部

11:20～12:20　一般演題（ポスター）14　活動報告　デジタルポスター③

座長：平松 真理子（慶應義塾大学病院 医療安全管理部）

転倒・転落対策（3）

P-14-1　A病院における転倒転落予防多職種チームラウンドの有用性と今後の課題

黒木 庄
鹿児島市立病院

P-14-2　入院患者への「やめよう、何となく初ベンゾ」の取り組みとモニタリング

田内 千恵子　ほか
姫路赤十字病院、医療安全推進室

P-14-3　当院リハビリテーション科における転倒事例の傾向の把握
～インシデント・アクシデントレポートに基づく事例の分析と院内ポスター発表の取り組み～

近藤 理智生　ほか
北上済生会病院リハビリテーション科

P-14-4　当院における転倒転落対策の新しい試み
―転倒転落アセスメントシートの問題解決と看護師業務軽減の両立を目指して

堀江 香織　ほか
兵庫県立はりま姫路総合医療センター

P-14-5　多職種での見守り体制の具体化による転倒・転落予防の効果検証

関谷 宏美　ほか
甲州リハビリテーション病院 医療安全管理室

P-14-6　定型手法を用いた事例検討会の運営

山本 啓央　ほか
北里大学病院 医療安全推進室／名古屋大学医学部附属病院 患者安全推進部

P-14-7　回復期リハビリテーション病棟における転倒の特徴―認知症日常生活自立度別の分析―

長尾 雄太
横浜鶴見リハビリテーション病院

P-14-8　転倒転落の現状と外傷低減のための活動報告～第1版～

寺島 由美　ほか
福井赤十字病院 医療安全推進室

P-14-9　高度急性期病院の転倒転落防止対策チームの活動報告
ー転倒リスク評価としてロコモ25を取り入れた4年間の活動評価ー

田向 恵美　ほか
金沢大学附属病院 看護部／医療安全管理部

P-14-10　入院患者の転倒転落による重症化対策に向けた緩衝マットの活用促進への取り組み

横山 美穂子　ほか
公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 医療安全管理室

11:20～12:20　一般演題（ポスター）15　活動報告　デジタルポスター④

座長：畔柳 信吾（碧南市民病院 医療安全管理室）

モニター・アラーム管理（2）

P-15-1　当院一般病棟における生体情報モニタ安全使用のための取り組み

田中 直子　ほか
川崎医科大学附属病院 MEセンター／川崎医療福祉大学 医療技術学部 臨床工学科／
川崎医科大学附属病院 医療安全管理室

P-15-2　モニター管理基準の整備による不要なアラーム削減への取り組み

近藤 志織　ほか
九州大学病院北棟3階病棟

P-15-3　MACT活動における病棟スタッフへの支援強化への取り組み～巡視シートを活用して～

飯田 久子　ほか
自治医科大学附属病院

P-15-4　A病院における生体情報モニターの安全使用に向けた取り組みと効果

助実 杏奈　ほか
国立病院機構長良医療センター 看護部／国立病院機構長良医療センター 医療安全管理室

P-15-5　小児専門病院の循環器病棟におけるMACT導入と短期的効果

滝原 悠太　ほか
神奈川県立こども医療センター クリーン病棟看護師

P-15-6　モニターアラームコントロールチーム（MACT）の活動報告と課題

粟国 あつみ　ほか
社会医療法人 友愛会 友愛医療センター 医療安全管理室

P-15-7　MACT介入による病棟アラートの変化

大野 喬亮　ほか
山梨大学医学部附属病院 臨床工学部

P-15-8　患者個別の詳細な警告条件を医療従事者自身が設定可能な電子カルテ臨床アラート機能の開発

山口 翔平　ほか
日本電気株式会社 医療システム開発統括部

P-15-9　小児専門病院におけるMACT活動を通じたテクニカルアラーム管理への取り組み

池上 綾香　ほか
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター 臨床工学部

P-15-10　院内統一アラーム設定導入によるアラーム件数削減と応答率改善の検討

辻川 圭亮　ほか
豊田厚生病院、臨床工学室

14:45〜15:45　一般演題（ポスター）16　活動報告　デジタルポスター①

座長：柴田 正幸（日本赤十字社 前橋赤十字病院）

教育・研修・シミュレーション（3）

P-16-1　外来看護の充実にむけて
〜非常勤看護師も含めた研修受講と受講後の取り組み〜

福島 みさ代
南医療生活協同組合 総合病院南生協病院

P-16-2　造影剤使用時のアレルギー対応シミュレーション訓練効果
〜副作用出現時の対応時間を訓練前後で比較して〜

和田 優子　ほか
順天堂大学医学部附属練馬病院 看護部

P-16-3　ロボット支援手術における緊急ロールアウトシミュレーション体制構築の取り組み

愛甲 景章　ほか
藤田医科大学病院 医療の質安全対策部 安全管理室

P-16-4　手術室におけるOJT中の臨床工学技士の可視化を通じた心理的安全性と多職種支援体制の検討

福田 将誉　ほか
箕面市立病院 臨床工学部

P-16-5　誤薬防止を目的とした教育動画の作成とその効果の検討

玄海 泰子　ほか
北里大学病院 医療安全推進室／北里大学病院 看護部

P-16-6　グーグルフォームを利用したインシデントレポート演習の取り組み

小谷 恭平　ほか
千葉県がんセンター、医療の質・安全管理部

P-16-7　ICU指導者が実践する医療安全教育の実態調査

村岡 さやか　ほか
群馬大学医学部附属病院 看護部

P-16-8　新カリキュラムに対応した臨床工学技士養成課程の医療安全教育
―医療機器関連事例を用いたグループワークの実践―

中野 広基　ほか
北里大学保健衛生専門学院 臨床工学専攻科

P-16-9　看護職に対する医療安全院内研修の構築

坪内 旬子　ほか
愛媛大学医学部附属病院医療安全管理部

P-16-10　新人多職種医療安全研修における議論構造の再設計
―事務職員・メディカルスタッフの発言促進を目的として―

神山 淳子　ほか
自治医科大学附属病院 医療の質・安全推進センター

14:45～15:45　一般演題（ポスター）17　活動報告　デジタルポスター②

座長：川名 賢一郎（聖路加国際病院 QIセンター医療安全管理室 薬剤部）

薬剤・与薬安全管理（4）

P-17-1　長年の禁止ルールを多職種協働で変えた
――インスリン混注におけるWAI-WADギャップを埋めるアプローチの実践

徳永 あゆみ　ほか
関西医科大学 医療安全管理センター／関西医科大学附属病院 糖尿病科

P-17-2　入退院時における薬剤確認補助プログラムの開発

山本 崇　ほか
大阪赤十字病院薬剤部

P-17-3　血液浄化部における10年間のインシデント傾向分析

若尾 唯　ほか
山梨大学医学部付属病院 臨床工学部

P-17-4　5Sラウンドにおける評価と改善提案の実践 ―好取組に学ぶ配置・表示の標準化―

田和 菜穂子　ほか
セコム医療システム株式会社

P-17-5　多職種が参加する医療安全相互チェックによる標準化理解と主体的改善の促進

辻原 由佳　ほか
市立伊勢総合病院

P-17-6　持参薬の散薬分包紙へのレセプト用薬品名印字による5倍量与薬インシデントへの対応

松浦 正樹　ほか
東北大学病院医療安全推進室／東北大学病院薬剤部

P-17-7　錠剤監査支援システム装置の導入による調剤過誤と業務にあたえる影響について

河波 豊　ほか
千鳥橋病院 医療安全管理対策委員会

P-17-8　電子版お薬手帳情報を医療機関で活用するためのPoC：お薬手帳情報活用システムを用いた試験的運用

山際 岳朗　ほか
京都大学医学部附属病院 医療安全管理室／京都大学医学部附属病院 薬剤部

P-17-9　アナフィラキシー対応WGの活動によるアドレナリン注の適正使用への貢献

板井 進悟　ほか
金沢大学附属病院医療安全管理部

P-17-10　業務用スマートフォンを活用した看護業務の定量的調査の実施
～ICT活用による看護師の負担軽減への改善活動～

田村 宏美　ほか
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 看護部

14:45〜15:33　一般演題（ポスター）18　活動報告　デジタルポスター③

座長：松村 由美（京都大学医学部附属病院 医療安全管理部）

心理的安全性・安全文化・報告文化

P-18-1　看護師長会における心理的安全性の体験を通じた安全文化の醸成
―「待たれる1on1」への変容とピアサポート体制の構築―
八瀬 和佳恵　ほか
姫路赤十字病院 看護部

P-18-2　医師からの軽微なインシデントレポートを増やす当院での取り組みについて
田尻 和人　ほか
富山大学附属病院 医療安全管理部／富山大学附属病院 消化器内科

P-18-3　A病院の医療安全管理者によるニュースレター配信が職員へ及ぼした影響についての一考察
小林 晶子
量子科学技術研究開発機構QST病院

P-18-4　IAレポート「報告件数を増やす」から「正しく報告する」への転換
田久保 愛　ほか
かわぐち心臓呼吸器病院看護部、医療安全管理室

P-18-5　救急搬送（来院）後24時間以内死亡事例の検証の意義
上路 麻美　ほか
新百合ヶ丘総合病院医療の質・安全推進室

P-18-6　臨床工学技術部門におけるインシデントレポート報告促進への取り組み
本鍋田 由美子　ほか
聖マリアンナ医科大学病院医療安全管理室

P-18-7　リンクスタッフを介したインシデント報告の強化と点滴トラブルの要因分析
永田 千佳　ほか
千鳥橋病院 クオリティマネジメントセンター

P-18-8　インシデントレポート報告件数増加に向けた取り組み
八島 朋子　ほか
慶應義塾大学病院医療安全管理部

P-18-9　※演題取下げ

14:45〜15:45　一般演題（ポスター）19　活動報告　デジタルポスター④

座長：長尾 能雅（名古屋大学医学部附属病院）

医療事故調査・訴訟・対話推進・心理的安全性・安全文化・報告文化

P-19-1　ペイハラアンケートで見えた！これからの必要な重点策
藤井 耕
京都民医連あすかい病院 医療安全管理室

P-19-2　重大事象の把握と組織的対応　―通知改正を踏まえた一大学病院における実践―
植田 瑛子　ほか
横浜市立大学附属病院医療安全管理部

P-19-3　書類作成遅延に関するクレームの可視化と事務職員の心理的負担改善に向けた取り組み
古川 恵実加　ほか
公益財団法人榊原記念財団附属榊原記念病院 連携・支援課

P-19-4　医療事故情報収集等事業の事例報告システム改修と医療事故情報の報告件数の検討
井上 純子　ほか
公益財団法人 日本医療機能評価機構 医療事故防止事業部

P-19-5　透析患者のペイシェントハラスメント対応において応召義務について考えさせられた一例
間中 泰弘　ほか
医療法人豊田会 高浜豊田病院 臨床工学科

P-19-6　医療安全推進委員会の組織的取り組みによる医療安全文化の改善～6年間の継続調査に基づく分析～
谷 真澄　ほか
済生会松阪総合病院

P-19-7　心理的安全性を職員に浸透させることを目的とした当院の取り組み（第3報）
阿登 大次郎　ほか
地方独立行政法人 市立大津市民病院 医療の質・安全管理室／地方独立行政法人 市立大津市民病院 リスクマネージャー

P-19-8　240床病院における年間14,000件超のインシデントレポート集計分析・フィードバック手法の構築
笠井 唯史　ほか
常磐病院 医療安全管理部

P-19-9　小児病院で医療対話推進室はじめました
柳 貞光　ほか
神奈川県立こども医療センター患者家族医療対話推進室

P-19-10　当院における総合相談室の活動報告
太田 敏弥
手稲渓仁会病院 患者サポートセンター

14:45～15:39　一般演題（ポスター）20　活動報告　デジタルポスター⑤

座長：中里 智子（群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学講座）

RRS・急変対応・患者参加・臨床倫理

P-20-1　当院臨床倫理活動と救急・集中治療領域における終末期医療
石井 健　ほか
国家公務員共済組合連合会 国際部、品質管理室、集中治療科

P-20-2　看護師の力で院内急変を防ぐ！ RRTピックアップラウンドの導入と課題
金山 悠　ほか
大阪急性期・総合医療センター 救急病棟

P-20-3　急変ゼロに向けた院内NEWS導入の取り組み
林 俊介　ほか
社会医療法人友愛会 友愛医療センター 看護部 HCU

P-20-4　DNAR表示変更に伴う確認漏れ防止と視認性改善
白砂 麻里　ほか
医療法人徳洲会白根徳洲会病院

P-20-5　がん専門病院における全緊急入院患者への警戒スコアチェックの取り組み
山口 真由美　ほか
愛知県がんセンター

P-20-6　※演題取下げ

P-20-7　DNAR検討WG活動報告
～患者急変時における蘇生処置等の方針を迅速かつ確実に把握するためのシステム構築～
大坂 朱美　ほか
徳島大学病院 安全管理部

P-20-8　放射線室におけるCT検査急変時対策に対する多職種連携の取り組み
大倉 正樹　ほか
済生会松阪市民病院 放射線室

P-20-9　小児循環器病棟におけるモニター管理 ～モニター管理の徹底に向けたモニター監視ナースの育成～
山口 京子
地方独立行政法人 大坂市民病院機構 大阪市立総合医療センター ICU2

P-20-10　小児急変時に"迷わない"救急外来を目指して～多職種連携による体制整備の取り組み～
藤原 美江　ほか
三菱京都病院 外来

14:45～15:45　一般演題（ポスター）21　活動報告　デジタルポスター⑥
座長：松島 久雄（獨協医科大学埼玉医療センター 救命救急センター）

患者誤認防止・確認行動・心理的安全性・安全文化・報告文化・災害・BCP対策

P-21-1　医療安全管理部門カンファレンスにおけるインシデント事例検討を“自分事”にするためのひと工夫
～無料のGoogleフォームを利用した事前投票制の導入～
椙野 良知　ほか
加賀市医療センター医療安全管理室／医療法人社団博友会金沢西病院整形外科

P-21-2　個人の注意力依存から安全文化を誘発するシステムへ ～ TeamSTEPPSベースの仕組みを作る～
小原 将太　ほか
彩の国東大宮メディカルセンター 臨床工学科

P-21-3　患者誤認防止に向けた患者確認の精度向上への取り組み
～医療安全全国共同行動 患者安全行動計画3部会の活動～
寺井 美峰子　ほか
医療安全全国共同行動 患者安全行動計画3部会

P-21-4　「安全ひとくちメモ」を活用したタイムリーな医療安全情報共有の取り組み
兼光 洋子　ほか
川崎医科大学総合医療センター

P-21-5　患者確認の現状分析と改善策の導入による誤認事例減少への取り組み
殿塚 景子　ほか
群馬大学医学部附属病院 医療の質・安全管理部／群馬大学医学部附属病院 看護部

P-21-6　一覧型バーコード入力による認知負荷低減とヒューマンエラー抑制：血管造影室における入力構造の定量評価
加藤 伸一　ほか
福岡大学筑紫病院 放射線部

P-21-7　食物経口負荷試験をより安全に―「伝わる説明書」が変えるリスクマネジメント
三宅 未紗　ほか
藤田医科大学ばんたね病院小児科学／藤田医科大学ばんたね病院安全管理室

P-21-8　当院でのインシデントレポート見える化とヒヤリハット名称変更の取り組み
近藤 由佳　ほか
医療法人社団ふけ会 富家千葉病院 看護部

P-21-9　急性期病院における看護師長の医療事故防止能力の現状
ー患者安全のための医療事故防止行動自己評価尺度-看護師長用-を用いて—
高木 陽子　ほか
滋賀県立総合病院 看護部

P-21-10　患者の本音を可視化し、能動的な発信を促す：患者協働による医療安全の構築を目指して
柏木 静香　ほか
川崎市立多摩病院

16:00〜16:54　一般演題（ポスター）22　活動報告　デジタルポスター①

座長：大石 裕子（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部）

教育・研修・シミュレーション（4）

P-22-1　医学生に対するロールプレイ型医療安全教育の試み - 急変対応と医療過誤面談の二場面構成 -
小泉 慎一郎　ほか
浜松医科大学医学部附属病院 医療安全管理室

P-22-2　医学科臨床実習前医療安全教育の実践報告
増田 雄一
信州大学医学部附属病院医療安全管理室

P-22-3　V-A ECMO低頻度施設における持続可能な安全管理体制の構築
〜継続的シミュレーションと運営委員会発足の成果〜
阿部 豪介
大分赤十字病院 医療技術部 臨床工学技術課

P-22-4　PICC挿入技術の確保に向けたトレーニングとその効果-エコーガイド下静脈穿刺に焦点を当てて-
長谷川 明大　ほか
独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院

P-22-5　多職種が参加可能な医療安全推進者養成研修内容の改善
阿部 葉子　ほか
前橋赤十字病院 医療安全推進室

P-22-6　看護師を対象としたまごころ課研修の評価と患者満足度の推移
乾 秋奈
医療法人菊名記念病院、医療安全管理室、まごころ課(総合相談窓口)

P-22-7　任せる人から「できる人」へ：全職員を対象とした院内BLS研修の構築と成果
荻野 峻　ほか
京都府立医科大学附属北部医療センター看護部 ライフサポート部会

P-22-8　透析室における「参加型医療安全クイズ」の導入効果
—遊び心を取り入れた啓発活動による意識変容とインシデント内容の質的変化—
小北 可奈　ほか
医療法人徳洲会 札幌南徳洲会病院

P-22-9　内視鏡業務の標準化と質向上を目指した教育介入
—Googleフォームを活用した現場の疑問に基づく実践的指導の試み—
岡田 侑　ほか
社会医療法人 潤心会 熊本セントラル病院

16:00〜17:00　一般演題（ポスター）23 活動報告 デジタルポスター②

座長：山田 晃正（市立東大阪医療センター）

薬剤・与薬安全管理（5）

P-23-1　FMEAを用いたリスクマネジメント実践－PDAを用いた注射業務の安全性向上－
高橋 静子　ほか
医療法人鉄蕉会 亀田総合病院 医療安全管理室

P-23-2　看護情報支援システム iWARD 導入による看護業務の可視化と進捗共有の取り組み
岩瀬 沙織　ほか
総合青山病院

P-23-3　静岡県立こども病院における周術期休薬システムを導入して
木村 真子　ほか
地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院 医療安全管理室

P-23-4　医師のオンコール体制における看護師の連絡・調整の実態
岡本 千秋　ほか
北海道大学病院 看護部

P-23-5　外来免疫チェックポイント阻害薬投与におけるirAE重大アクシデントを契機とした多職種連携チェックプロセスの再構築
有木 宏宗　ほか
聖マリアンナ医科大学病院医療安全管理室

P-23-6　B型肝炎ウイルス再活性化対策に関するガイドライン遵守に向けた多職種チームの取り組み
宮本 直武　ほか
士別市立病院 診療技術部診療放射線科／士別市立病院 医療安全管理室／北海道科学大学 保健医療学研究科

P-23-7　病棟担当薬剤師の支援による血液培養陽性者への早期AST介入体制の構築と評価
佐々木 順哉　ほか
白岡中央総合病院薬剤部

P-23-8　当院の術前中止薬の取り組み〜薬剤師はどのように患者に関われているか〜
大田 雄介
耳原総合病院 薬剤科

P-23-9　アバコパンによる胆管消失症候群36例の分析と、情報共有の検討
喜田 裕也
光生病院 内科

P-23-10　薬剤師視点で検証した「指さし・声出し確認強化月間」の成果と課題
山口 佳津騎　ほか
香川大学医学部附属病院 医療安全管理部

16:00〜17:00　一般演題（ポスター）24 活動報告 デジタルポスター③

座長：深見 達弥（島根大学医学部附属病院 医療安全管理部）

リハビリ・栄養・摂食嚥下・生成AI・DX活用

P-24-1　入院中の妊婦に対する食事内容の調整に関する取り組み
竹村 悠果　ほか
産業医科大学病院 母体胎児集中治療室

P-24-2　嚥下調整食における過剰水分量に対する是正の取り組み

皆川 健太　ほか
公益財団法人榊原記念財団附属 榊原記念病院 栄養管理科

P-24-3　生成AIを用いたインシデントレポート文章草案作成の比較検討
―検査部における0,1レベルインシデント報告支援へ向けた取り組み―

藤井 佳穂　ほか
中部労災病院 中央検査部

P-24-4　患者説明支援システム（DICTOR(R)）の多診療科・多職種展開：
医師説明と看護業務における説明標準化による業務改善と医療安全への寄与

小山 雅之　ほか
札幌医科大学医療人育成センター 応用情報科学部門

P-24-5　多職種連携による客観的評価が促進する安全文化

福岡 泰弘
公益財団法人筑波メディカルセンター

P-24-6　窒息インシデントを契機とした口腔内観察を軸とする安全管理体制の再構築

大石 美枝　ほか
大分赤十字病院

P-24-7　HAD予防を目的としたモビリティサポートチームの導入と院内実装
―モビリティスケール活用促進に関する初期評価―

中村 高良　ほか
東京慈恵会医科大学葛飾医療センター リハビリテーション科

P-24-8　大阪医科薬科大学病院における多職種カンファレンス記録についての課題
-テンプレート導入後の利用実態アンケート調査-

森 直規　ほか
大阪医科薬科大学病院 医療総合管理部 診療情報管理室

P-24-9　回復期病院における臨床倫理検討会の心理的支援機能 ～リハビリ職員の体験に基づく質的検討～

小松 幹哉　ほか
イムスリハビリテーションセンター東京葛飾病院リハビリテーション科

P-24-10　生成AIを活用した動画とスクリーンセーバーによる医療安全手順書の院内周知の試み

松本 理恵　ほか
医療法人徳洲会湘南厚木病院 医療安全管理室／医療法人徳洲会湘南厚木病院 セーフティマネジメント委員会

16:00～16:54　一般演題（ポスター）25　活動報告　デジタルポスター④

座長：森脇 睦子（東京科学大学 医療本部 クオリティ・マネジメント・センター）

患者誤認防止・確認行動

P-25-1　NICUでの母乳投与プロセスにおけるFMEA（Failure Mode and Effects Analysis）の実践

西出 康晴　ほか
公益財団法人 大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院 患者安全推進室

P-25-2　電子カルテを活用したインスリン投与の標準化とインシデント低減への取り組み

櫻井 操　ほか
順天堂大学医学部附属静岡病院 看護部

P-25-3　輸液投与経路誤認に対する再発防止策―0時一斉輸液更新の見直しによる環境改善―

小久保 登子　ほか
済生会松阪市民病院

P-25-4　患者誤認事例検討を集合型から少人数・分散型へ移行した効果
― アンケートフォームを用いた継続可能な医療安全活動の構築 ―
勇 佳菜江　ほか
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

P-25-5　外来における書類の患者間違い防止に向けた低コストな患者参加型医療安全活動
櫻井 倫代　ほか
山口大学医学部附属病院、医療の質・安全管理部

P-25-6　継続的モニタリングとフィードバックによる患者認証ツール使用率向上
―リスクマネジャーを介したフィードバックと対策検討による行動変容―
高橋 智代　ほか
姫路赤十字病院

P-25-7　患者誤認防止に向けたリストバンド装着ルールの再構築
坂本 千尋　ほか
東北大学病院医療安全推進室

P-25-8　放射線技師における患者誤認事故減少に向けた取り組み
大畑 めぐみ　ほか
愛知医科大学病院 医療安全管理室

P-25-9　医療安全における「うまくいったこと」の可視化と共有
―出来事報告書のポジティブな視点分析とGood job報告の学習活用―
佐藤 恭江　ほか
総合病院岡山協立病院 医療安全管理部

16:00～17:00　一般演題（ポスター）26　活動報告　デジタルポスター⑤

座長：水沼 直樹（福島県立医科大学、東京神楽坂法律事務所）

患者参加・臨床倫理・画像・検査結果の未読未対応

P-26-1　高齢者の「医療」と「患者・家族参加」に対する意識 ― 市民講座の授業内課題の分析
山口(中上) 悦子　ほか
国際医療福祉大学医学部(医療の質・安全学)

P-26-2　当院におけるパニック値報告システムの運用見直しと今後の課題
彌勒 清可　ほか
一般財団法人竹田健康財団竹田綜合病院

P-26-3　MR入室時の準備不足を減少させる取り組み　～MR準備に患者参画を～
福澤 知子　ほか
聖マリアンナ医科大学病院 医療安全管理室

P-26-4　改正障害者差別解消法に基づく当事者参画型ラウンドの試み
藤村 七海　ほか
社会医療法人財団慈泉会相澤病院QI室／社会医療法人財団慈泉会本部品質戦略部

P-26-5　当院小児病棟における家族の選択制付き添いの試験的導入と運用
～多職種と協働した安全体制の構築～（第1報）
箱田 美知恵　ほか
北里大学病院 看護部

P-26-6　患者のコンプライアンスを維持する目的で実施したメディエーション
松本 秀樹　ほか
医療法人林病院 医療安全推進グループ・患者擁護室

P-26-7　患者・市民向け医療安全教材(改訂版)の作成 ～チームHONGOによる患者参加推進の取り組み～
野々村 ゆかり　ほか
医療の質・安全学会 患者・市民参画推進委員会パートナーシップ推進プロジェクト／さいたま市病院

P-26-8　患者参加型医療推進に向けた「カルテ共有」に関する患者意識調査
中里 智子　ほか
群馬大学大学院医学系研究科 医療の質・安全学講座

P-26-9　重要所見アラート運用における“既読後未対応”という新たなリスクの顕在化
角田 和博　ほか
海老名総合病院安全推進部医療安全対策室

P-26-10　ACP理念の共有と実践につながる、腹膜透析患者・家族のWorld Cafe
北村 温美
大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部

16:00～16:54　一般演題（ポスター）27　活動報告　デジタルポスター⑥
座長：江口 明世（兵庫医科大学 医学部 医療クオリティマネジメント学）

災害・BCP対策・身体拘束最小化

P-27-1　A病院外来における災害を想定した机上シミュレーションの実施
伊藤 由希子　ほか
伊藤病院 看護部

P-27-2　電子カルテシステム障害を想定した障害時運用手順の構築と机上訓練の実施
岩田 和久　ほか
留萌市立病院、医療安全推進室

P-27-3　インシデントレポートを起点とした改善活動
～インシデントトリアージに基づく事前投票制を取り入れて～
北市 佳子　ほか
加賀市医療センター医療安全管理室

P-27-4　A病院における身体的拘束最小化に向けた体制の構築と取り組み
坪内 旬子　ほか
愛媛大学医学部附属病院医療安全管理部／愛媛大学医学部附属病院身体的拘束最小化チーム

P-27-5　身体的拘束最小化チームの立ち上げと活動成果
伊藤 祐美子　ほか
医療法人 住友別子病院 認知症看護認定看護師

P-27-6　大規模音楽イベントにおける傷病者発生動向と救護対応からみえた医療安全課題
―院外医療ニーズに応える多職種連携救護支援の実践―
草地 海翔　ほか
総合病院岡山協立病院 リハビリテーション部

P-27-7　獨協医科大学のWEB上の医療安全無料スライド公開のアクセスログに見る傾向
矢内原 仁　ほか
獨協医科大学病院医療安全推進センター

P-27-8　身体拘束に対する患者家族と医療従事者への意識調査からわかること
住吉 康子　ほか
社会医療法人美杉会 男山病院

P-27-9　小動物の囓害による病院情報ネットワークの障害

青木 陽介　ほか
大船中央病院放射線診断科

17:15〜18:15　一般演題（ポスター）28　活動報告　デジタルポスター①

座長：箱田 美知恵（北里大学病院 看護部）

教育・研修・シミュレーション（5）

P-28-1　昭和医科大学附属8病院における医薬品安全管理責任者間の連携強化を目的とした情報共有の取り組み

田中 章久　ほか
昭和医科大学江東豊洲病院 薬剤部

P-28-2　「日々の気づきから安全を築く」訪問看護ステーションにおけるKIZUKIレポートを用いた安全学習の仕組みづくりとその評価

清水 千尋　ほか
大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻

P-28-3　循環器専門病院における集中治療室内での小児緊急開胸のシミュレーション教育

姫野 綾子　ほか
公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 看護部

P-28-4　立体駐車場における院内急変対応体制の整備と課題改善の取り組み
〜救急蘇生小委員会によるシミュレーションとフロー整備の実践〜

嶋田 ひとみ　ほか
公益財団法人、天理よろづ相談所病院、医療安全管理室／公益財団法人、天理よろづ相談所病院、救急蘇生小委員会

P-28-5　予期せぬ死亡におけるデータ保全を目的とした医療事故判断シート運用改善と多職種研修の安全対策

入野 佳代子
西宮協立脳神経外科病院 安全管理室

P-28-6　インシデントを契機とした注射用麻薬運用の再構築と多職種連携による管理体制の強化

坂田 志帆　ほか
岡山市立市民病院 薬剤部

P-28-7　点滴・採血時の神経障害疑い発生時の対応

本多 真琴　ほか
磐田市立総合病院

P-28-8　「あるあるインシデント」から「部署で考えるインシデント」への取り組み

西脇 有良　ほか
岡山大学病院総合診療棟東4階ICU･CICU

P-28-9　QuickSAFER® 分析手法を用いたOJTにおける看護師のインシデント分析

三河内 敬子　ほか
庄原赤十字病院 看護部

P-28-10　急性期病院リハビリテーション部門における医療安全室員としての役割と成果

田岡 久嗣　ほか
公益財団法人 天理よろづ相談所病院 医療安全管理室／公益財団法人 天理よろづ相談所病院 リハビリテーション部

17:15〜18:15　一般演題（ポスター）29 活動報告 デジタルポスター②

座長：北村 温美（大阪大学医学部附属病院 中央クオリティマネジメント部）

教育・研修・シミュレーション・転倒・転落対策・モニター・アラーム管理

P-29-1　院内秩序維持管理規定の制定および医療の質管理部の立ち位置
貝沼 関志　ほか
稲沢市民病院 医療の質管理部

P-29-2　Pythonによる自施設完結型アラームデータ解析と多職種介入によるアラーム疲労軽減の取り組み
髙橋 康徳　ほか
神奈川県立こども医療センター臨床工学科

P-29-3　多職種協働で行う安全対策　〜ピクトグラムの共有を通じて〜
稲葉 健太郎
筑波メディカルセンター病院、PCU病棟

P-29-4　Monitor Alarm Control Team(MACT)活動の外来心臓リハビリテーションの応用 〜テクニカルアラームの低減を目指して〜
待鳥 暁
上尾中央総合病院リハビリテーション技術科

P-29-5　当院におけるモニタアラームコントロールチーム（MACT）の活動報告―第2報―
吉田 洋子　ほか
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 医療安全管理室

P-29-6　部署特性に応じたチームSTEPPS出張研修の実践 ―気づきを伝える声かけ行動に着目して―
宮島 慧　ほか
北里大学病院 医療安全推進室

P-29-7　転倒予防を目的とした靴下型足部機能補助具の開発とその有用性
井上 誠　ほか
県立広島大学 保健福祉学科 看護学コース

P-29-8　本邦初となる患者参加型「医療安全啓発センター」開設意義と来場者アンケートから見えた期待 〜2群間（患者家族群・教職員群）比較〜
下村 裕見子　ほか
学校法人東京女子医科大学 医療安全・危機管理部／学校法人東京女子医科大学 医療安全啓発センター

P-29-9　臨床倫理に対する感度向上教育研修の継続実施と心肺蘇生不要指示（以下：DNAR）ガイドラインおよび説明同意書の改定
戸塚 雄介　ほか
聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 医療安全管理室／聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 臨床倫理委員会

P-29-10　インフォームドコンセント指針改訂後における手術説明のカルテ記載および看護職員同席率向上に向けた取り組み　―2022年・2024年比較調査―
岡田 敬子　ほか
宮城県立こども病院

17:15〜18:15　一般演題（ポスター）30 活動報告 デジタルポスター③

座長：増田 雄一（信州大学医学部附属病院 医療安全管理室）

手術・周術期安全管理・感染対策・清潔管理・薬剤・与薬安全管理

P-30-1　手術同意書における左右未記入防止に向けた様式変更と多職種確認体制の強化
大内 道子　ほか
公立西知多総合病院 看護局

P-30-2　カスタマーハラスメント対応におけるスタッフ支援
～セクシュアルハラスメント被害者の「自責」から「尊厳回復」への介入～
平井 理心　ほか
筑波大学附属病院医療安全管理部

P-30-3　※演題取下げ

P-30-4　周術期における抗血栓薬管理の安全性向上に向けた院内ガイドライン策定
寺澤 優子　ほか
福井大学医学部附属病院 医療環境制御センター 医療安全管理部

P-30-5　全国的な麻疹流行を契機に痛感した平時の院内感染対策徹底の重要性
渡邉 久夢　ほか
公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 感染制御室

P-30-6　リンクナース主導による手指消毒薬使用量の可視化と心理的インセンティブを用いた取り組み
八瀬 和佳恵
姫路赤十字病院 看護部

P-30-7　手術手順・展開・医療機器使用法を意識した手術イラストと外科的手技に関するトラブルのイラストは外科診療の安心安全に有用です
中澤 幸久　ほか
協立総合病院外科

P-30-8　当院におけるコミュニケーションエラー低減に向けた電子カルテ掲示板システム運用の取り組み
足藤 広巳　ほか
埼玉医科大学病院医療安全対策室

P-30-9　DNAR指示の迅速な確認に向けたリストバンド表示システムの構築
宮本 直武　ほか
士別市立病院 診療技術部診療放射線科／士別市立病院 医療安全管理室／北海道科学大学 保健医療学研究科

P-30-10　薬剤による血管外漏出事例の検討
石田 耕太　ほか
日本赤十字社医療事業推進本部医療の質・研修部／日本赤十字社医療センター薬剤部／日赤薬剤師会

17:15～18:15　一般演題（ポスター）31　活動報告　デジタルポスター④

座長：宮崎 浩彰（関西医科大学）

面会・退院支援・地域連携・ハラスメント対策・タスクシフト・タスクシェア・チーム医療・質改善・リスクマネジメント

P-31-1　小児専門病院唯一の特定行為研修指定研修機関における安全な特定行為実践に向けた取り組み
和田 あゆみ　ほか
地方独立行政法人 埼玉県立病院機構 埼玉県立小児医療センター 看護部

P-31-2　DVT予防管理システムの改修におけるポイント
原田 大史　ほか
産業医科大学 医療の質・安全管理部

P-31-3　医療安全管理者会の10年の歩み～地域ネットワークの構築～
小久保 登子　ほか
済生会松阪市民病院

P-31-4　入退院支援職員が入院時に行うケアマネジャーとのカンファレンス開催の取り組み
浦 靖子
奈良県立医科大学附属病院地域連携・入退院支援センター

P-31-5　当院におけるカスタマーハラスメントの現状と取り組み
浅尾 典彦　ほか
社会医療法人 原土井病院

P-31-6　主治医依存の風土から「躊躇ない要請」へ
―RRSにおける心理的安全性を担保する3段階の組織変容プロセス―
籔田 雅子　ほか
ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院 安全推進部

P-31-7　電子カルテ開示の盲点ー実際に開示資料を確認してわかったことー
亀森 康子　ほか
自治医科大学附属さいたま医療センター医療安全・渉外対策部

P-31-8　病理部門におけるバーコード認証導入によるヒューマンエラー低減への取り組み
塩飽 初美　ほか
兵庫県立尼崎総合医療センター 医療安全部

P-31-9　RRS定着に向けたフィードバックカンファレンスと教育・周知の取り組み
三枝 典子　ほか
前橋赤十字病院 看護部

P-31-10　急変対応行動に影響する組織要因の検討―RRS導入前アンケートによる実態把握―
富所 あゆみ　ほか
公益財団法人 榊原記念財団附属 榊原記念病院 看護部